

10 教 育 費

5,614,920,371円

項 目	ペ ー ジ
教育総務費	
教育総務費	543
学務費	548
特別支援総務費	551
教育指導費	553
学校給食費	564
私立学校費	565
小学校費	
小学校総務費	570
小学校学務費	575
小学校特別支援教育費	576
小学校指導費	577
中学校費	
中学校総務費	579
中学校学務費	583
中学校特別支援教育費	584
中学校指導費	585

項 目	ペ ー ジ
社会教育費	
社会教育費	589
文化事業費	598
郷土博物館費	600
美術館費	606
吉川英治記念館費	608
図書館費	610
文化交流センター費	617
保健体育費	
スポーツ推進費	619

教 育

教育委員会では、「青梅市教育大綱」を踏まえた「青梅市教育委員会の基本方針」に沿って施策の展開を図っている。

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、基本方針に沿った教育活動を行った。

基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

(1) 人権教育の推進

東京都教育委員会人権尊重教育推進校の指定を受けた西中学校において2か年の取組を研究発表し、市内全小・中学校でその成果を共有した。

(2) いじめ防止の取組

いじめ防止対策を強化するため、「青梅市いじめの防止に関する条例」を一部改正するとともに、学校いじめ防止総合年間計画に沿って、教職員への研修やいじめ早期発見のためのアンケート、中学校区ごとの「いじめゼロ宣言」の取組等を実施した。

(3) 「青梅学」の実施

地元青梅の自然や文化・伝統等の理解を深めるため、小学校5年生の校外学習として御岳山の宿坊などを利用した「青梅学」を実施した。

基本方針2 「豊かな個性」と「創造力」の伸長

(1) 学力の向上

基礎学力の定着を図るため各学校において「ステップアップクラス」を実施するとともに、受験対策として中学校3年生を対象に「スタディ・アシスト」を実施した。

(2) オリンピック・パラリンピック教育

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、東京都の委託事業として、共生社会の実現や豊かな国際感覚などを理解する取組を実施した。

(3) ICT教育

国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育推進校を中心に一人一台の学習用端末の効果的な活用を進めるとともに、指導者用デジタル教科書や電子黒板を一部導入するなど、ICT教育の推進を図った。

基本方針3 生涯学習の推進と社会教育の充実

(1) 成人式等の実施

昨年中止となった成人式の代替措置として「令和3年青梅市成人を祝う会」を1月9日に実施した。また「青梅市成人式」を2部制で1月10日に実施した。

基本方針4 文化・芸術の振興

(1) 文化財の保存・活用

国宝「赤糸威鎧」および重要文化財「紫裾濃鎧」の保存修理事業等に対し、指定文化財保存事業費補助金を交付するとともに、都指定有形文化財「旧吉野家住宅」の屋根葺き替え工事（令和3年度・令和4年度の2か年事業）を実施した。

(2) 展覧会の開催

美術館では、特別展「明治水彩の隠れた巨匠—五百城文哉作品展」等を、郷土博物館および吉川英治記念館では、市制施行70周年記念展等を開催した。

(歳出 10 教 育 費)

基本方針5 「市民の教育参加の促進」と「主体的な教育行政の推進」

(1) 防犯カメラの設置

児童の防犯対策を充実させるため、小学校5校の登下校区域に防犯カメラを増設した。

(2) 学校給食センターの整備

新学校給食センターの整備に向け、整備手法の見直しを図るとともに、根ヶ布調理場敷地について土壤汚染対策法等にもとづく調査を実施した。

(3) 教育環境の整備

小学校3校・中学校1校のトイレ改修工事、小学校7校の特別教室等空調機整備工事、小学校1校の屋上防水および外壁等改修工事など各整備工事を実施した。

※ 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた主な教育活動

1 ガイドラインにもとづいた学校教育

緊急事態宣言の発出等を踏まえ、各種行事等も含めた教育活動が制限される中、「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」を改訂するとともに、継続的な感染症対策を行いながら安全な教育活動の実施について指導した。

2 行事中止による負担軽減

一部中止となった修学旅行や移動教室等のキャンセル料を市が負担し、保護者の負担軽減を図った。

3 学習環境の整備

国の補助金を活用し、学校教育活動継続に伴う新型コロナウイルス感染拡大防止対策と併せた備品・消耗品等の購入による学習環境の整備を実施した。

表 彰

1 叙勲

区 分	氏 名	退職時勤務校	受章年月日等
瑞宝双光章	小 松 千 代 夫	元青梅市立泉中学校長	令和 3. 9. 1 88歳

教 育 総 務 費

2, 0 6 7, 6 9 4, 9 8 3 円

○ 教 育 総 務 費 (1 2 6, 4 3 2, 0 7 6 円) [教育総務課・企画政策課]

1 教育委員会経費

(1) 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 命 年 月 日	任 期 年 月 日	備 考
教 育 長	岡 田 芳 典	平成30年10月13日	令和 3年10月12日	退 任
〃	橋 本 雅 幸	令和 3年10月13日	令和 6年10月12日	就 任
職 務 代 理 者	大 野 容 義	平成30年11月 2日	令和 4年11月 1日	第 2 期
委 員	稲 葉 恭 子	令和 2年10月 1日	令和 6年 9月30日	第 2 期
〃	榎 本 淳 一 郎	平成29年12月21日	令和 3年12月20日	退 任
〃	百 合 陽 子	令和元年10月 1日	令和 5年 9月30日	第 1 期
〃	杉 本 洋	令和 3年12月21日	令和 7年12月20日	就 任

(2) 教育委員会付議事案

区 分	議案番号	件 名	結 果
第1回定例会 3. 4. 14	第1号	青梅市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
	第2号	青梅市社会教育委員の委嘱について	〃
	第3号	青梅市青少年委員の委嘱について	〃
	第4号	青梅市就学の援助に関する規則の一部を改正する規則について	〃
		議案4件 協議6件 報告9件	
第2回定例会 3. 5. 12	第5号	青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案1件 協議2件 報告5件	
第3回定例会 3. 6. 16	第6号	青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について	原案可決
	第7号	青梅市図書館運営協議会委員の委嘱について	〃
		議案2件 協議1件 報告8件	
第4回臨時会 3. 6. 30 (書面表決)		協議1件	
第5回定例会 3. 7. 14	第8号	青梅市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
	第9号	青梅市図書館運営協議会委員の委嘱について	〃
	第10号	青梅市教育委員会処務規則の一部を改正する規則について	〃
		議案3件 協議1件 報告4件	
第6回定例会 3. 8. 4	第11号	令和3年度青梅市教育委員会事務点検評価(令和2年度分)報告書の決定について	原案可決
	第12号	令和4年度使用教科用図書の採択について	〃
		議案2件 協議2件 報告3件	

(歳出 10 教 育 費)

区 分	議案番号	件 名	結 果
第7回定例会 3. 8. 25	第13号	青梅市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
	第14号	青梅市図書館運営協議会委員の委嘱について	〃
	第15号	青梅市教育委員会職員被服貸与規程の一部改正について	〃
		議案3件 協議1件 報告8件	
第8回定例会 3. 10. 6		協議3件 報告2件	
第9回定例会 3. 11. 10	第16号	青梅市文化財保護指導員の委嘱について	原案可決
	第17号	青梅市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	〃
		議案2件 協議5件 報告3件	
第10回定例会 3. 11. 24		協議2件 報告5件	
第11回臨時会 3. 12. 14 (書面表決)		協議1件	
第12回定例会 4. 1. 12		報告7件	
第13回定例会 4. 2. 8	第18号	校長転任の内申について	原案可決
	第19号	校長任命の内申について	〃
	第20号	副校長転任の内申について	〃
	第21号	副校長任命の内申について	〃
	第22号	青梅市文化財保護審議会委員の委嘱について	〃
		議案5件 協議2件 報告3件	
第14回臨時会 4. 2. 16	第23号	令和4年度青梅市教育委員会の基本方針について	原案可決
		議案1件 協議2件 報告6件	
第15回定例会 4. 3. 18	第24号	青梅市教育委員会防犯カメラの管理および運用に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
	第25号	青梅市適応指導教室(ふれあい学級)運営規則の一部を改正する規則について	〃
		議案2件 協議4件 報告5件	

(3) 規則等の制定改廃

ア 規則

規則番号	件 名	公布年月日	施行年月日
令和3年第6号	青梅市就学の援助に関する規則の一部を改正する規則	3. 4. 22	公布の日
令和3年第7号	青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会規則の一部を改正する規則	3. 5. 20	公布の日
令和3年第8号	青梅市教育委員会処務規則の一部を改正する規則	3. 7. 20	公布の日
令和3年第9号	青梅市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	3. 11. 19	4. 3. 1
令和4年第1号	青梅市適応指導教室(ふれあい学級)運営規則の一部を改正する規則	4. 3. 25	4. 4. 1

規則番号	件名	公布年月日	施行年月日
令和4年第2号	青梅市教育委員会防犯カメラの管理および運用に関する規則の一部を改正する規則	4. 3. 29	公布の日

イ 訓令

訓令番号	件名	訓令年月日	施行年月日
令和3年甲第7号	青梅市教育委員会職員被服貸与規程の一部改正	3. 8. 31	3. 9. 1

(4) 学校訪問の実施

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
7. 14	第二小	7. 16	西中	9. 30	第五小
10. 7	今井小 第三中	10. 15	成木小 第七中	10. 20	第七小 第六中
10. 29	第六小	11. 2	第三小	11. 5	第二中 友田小

(5) その他教育機関訪問の実施

月日	訪問機関	内容等
4. 14	市立美術館	特別展 明治水彩の隠れた巨匠－五百城文哉作品展
7. 16	吉川英治記念館	夏季展示 吉川英治と市所蔵直筆資料展 ～青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト～
8. 25	郷土博物館	青梅市市制施行70周年記念展 ゆめうめちゃんと行く時間旅行 ～青梅市誕生のひみつ～
9. 30	市立美術館	特別展 創立100周年記念 青梅信用金庫所蔵美術展
10. 7	学校給食センター	藤橋調理場視察 新学校給食センター敷地内地質調査現場視察
10. 29	吉川英治記念館	青梅市市制施行70周年記念 秋季展示 新・平家物語の世界
11. 10	郷土博物館	企画展 青梅の金融史 ～あおしん創立100周年～

(6) 市立小・中学校児童・生徒数、学級数、教職員数

ア 小学校

(令和3年5月1日現在、単位：人、学級)

学校名	児童数							学級数							教職員数			市職員数			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	男	女	計	事務	業務	計
第一小	56	(4) 73	(3) 50	(4) 62	(4) 65	(5) 66	(20) 372	2	2	2	2	2	2	3	15	12	10	22	1	0	1
第二小	(8) 73	(8) 81	(4) 95	(16) 105	(8) 104	(11) 122	(55) 580	2	3	3	3	3	3	7	24	20	14	34	1	1	2
第三小	(4) 106	(8) 95	(10) 144	(8) 125	(8) 110	(4) 145	(42) 725	3	3	4	3	3	4	6	26	21	16	37	1	0	1

(歳出 10 教育費)

学校名	児 童 数							学 級 数							教職員数			市職員数				
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	男	女	計	事 務	業 務	計	
第四小	(8) 81	(3) 60	(6) 75	(10) 64	(9) 66	(2) 68	(38) 414															
第五小	59	64	48	72	68	63	374	2	2	2	2	2	2	0	12	10	10	20	0	1	1	
第六小	15	18	14	10	18	17	92	1	1	1	1	1	1	0	6	8	9	17	0	1	1	
第七小	5	12	9	8	8	14	56	1	1	1	1	1	1	0	6	6	7	13	0	1	1	
成木小	18	4	7	11	9	12	61	1	1	1	1	1	1	0	6	4	8	12	0	0	0	
河辺小	67	58	72	85	64	87	433	2	2	2	3	2	3	[5]	14	15	14	29	0	1	1	
新町小	126	121	120	107	120	132	726	4	4	3	3	4	4	0	22	13	20	33	0	1	1	
霞台小	64	49	56	63	67	63	362	2	2	2	2	2	2	0	12	11	15	26	0	1	1	
友田小	28	28	27	24	35	37	179	1	1	1	1	1	1	0	6	8	9	17	0	1	1	
今井小	50	52	51	51	41	58	303	2	2	2	2	2	2	0	12	9	10	19	0	1	1	
若草小	(10) 71	(6) 87	(14) 81	(11) 83	(18) 87	(17) 79	(76) 488															
藤橋小	40	30	39	26	41	41	217	2	1	1	1	1	2	0	8	10	9	19	0	1	1	
吹上小	(8) 50	(10) 44	(8) 51	(6) 54	(7) 50	(4) 44	(43) 293															
東 小	0	0	0	0	2	4	6	0	0	0	0	1	1	0	2	3	2	5	0	0	0	
合 計	(38) 909	(39) 876	(45) 939	(55) 950	(54) 955	(43) 1,052	(274) 5,681							[5]								
前年比 増 減	(7) 33	(6) -59	(-7) 0	(4) -5	(10) -89	(0) -52	(20) -172							[1]								

※ () 内は特別支援学級児童数で内数、[] 内は通級学級数で外数

イ 中学校

(令和3年5月1日現在、単位：人、学級)

学校名	生 徒 数				学 級 数					教職員数			市職員数			
	1 年	2 年	3 年	計	1 年	2 年	3 年	特別 支援	計	男	女	計	事 務	業 務	計	
第一中	(4) 90	(9) 78	(4) 87	(17) 255												
第二中	(8) 155	(7) 153	(10) 162	(25) 470												
第三中	184	190	185	559	5	5	5	0	15	19	15	34	0	1	1	
西 中	104	88	92	284	3	3	3	0	9	10	9	19	0	0	0	
第六中	12	16	17	45	1	1	1	0	3	8	5	13	0	0	0	
第七中	18	6	16	40	1	1	1	0	3	8	5	13	0	1	1	
霞台中	(18) 132	(17) 126	(14) 112	(49) 370												

学校名	生徒数				学級数					教職員数			市職員数		
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	特別支援	計	男	女	計	事務	業務	計
吹上中	(4) 57	(6) 68	(10) 57	(20) 182	2	2	2	3	9	12	9	21	0	1	1
新町中	141	178	148	467	4	5	4	0	13	13	12	25	0	1	1
泉中	(9) 149	(18) 152	(10) 152	(37) 453	4	4	4	5	17	16	14	30	0	1	1
東中	7	12	19	38	1	1	1	0	3	12	8	20	0	0	0
合計	(43) 1,049	(57) 1,067	(48) 1,047	(148) 3,163	33	31	31	22	117	152	115	267	1	7	8
前年比増減	(-11) -4	(7) 27	(11) 14	(7) 37	0	0	1	3	4	5	1	6	0	-2	-2

※ () 内は特別支援学級生徒数で内数

(7) 教育委員会の事務点検評価

教育委員会が実施した令和2年度の事務事業について、自ら点検し評価した結果に有識者の意見を付して報告書にまとめ、市議会に提出し、市民に公表した。

2 総合教育会議経費

市長と教育委員会で構成する総合教育会議を開催し、教育を行うための諸条件の整備など重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行った。

月 日	内 容
10.5	・GIGAスクール構想による児童・生徒一人1台の端末整備の現状と課題 ・国立音楽大学との連携・協力の具体的な内容
2.4	・第7次青梅市総合長期計画の策定について

3 安全・安心学校づくり推進事業経費

(1) 「青梅子ども110番の家」

児童・生徒が不審者から声をかけられたり、事件に巻き込まれそうになった場合に駆け込むことができる緊急避難場所として、住宅や商店等を登録する「青梅子ども110番の家」の事業を継続して推進した。新規登録の受付を行うとともに、平成27・28・29年度に登録した57件に対して、風雨・紫外線等で劣化した表示旗の交換を行った。

(令和4年3月31日現在)

学校区域	件数	学校区域	件数	学校区域	件数
第一中学校区	272	第六中学校区	125	新町中学校区	169
第二中学校区	244	第七中学校区	130	泉中学校区	262
第三中学校区	207	霞台中学校区	275		
西中学校区	195	吹上中学校区	178	合計	2,057

(歳出 10 教育費)

(2) スクールガード・リーダーによる巡回指導

児童・生徒が安心して教育を受けられる環境を整えることを目的に、登下校時等における通学路の安全を確保するため、東京都の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を活用して、スクールガード・リーダー（警察官OB）による通学路の巡回指導を実施した。

スクールガード・リーダーは、学校と家庭や地域の関係機関・団体と連携した子ども安全ボランティア（スクールガード）の地域巡回活動に同行して、効果的な地域巡回について指導・助言等を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各小学校における地域巡回活動数は、前年度に引き続き、減少した。

(3) 青色防犯パトロールカーの運用

学校周辺の安全・安心対策を一層推進するため、小・中学校13校および教育委員会に配置の専用車に青色回転灯を装着し、学校周辺や通学路の青色防犯パトロールを実施した。また、不審者が現れた場合には状況に応じてパトロールを実施するなど、犯罪の抑止を図った。

4 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

多摩地域の児童詩集である「多摩の子・多摩子ども詩集」の発行により、児童の想像力・表現力を高め、地域の住民交流と文化および教養の向上に寄与するとともに、西多摩8市町村教育委員会、多摩の子・多摩子ども詩集発行協議会との連携により、西多摩広域行政圏計画に定める、未来の西多摩を担うたくましい子どもの育成を図った。

○ 学 務 費 （ 1 5 0 , 6 2 5 , 2 9 7 円） [学務課]

1 安全・安心学校づくり推進事業経費

- (1) 黄色帽子配布……………新入学児童 850個
- (2) ランドセルカバー配布……………新入学児童 780枚
- (3) 自転車通学生徒用ヘルメット配布……………中学生 118個

2 奨学金融関係経費

(1) 育英資金（入学一時金）融資

ア 融資の概要

区 分	融資限度額	償還期間	償還方法	貸付利率	利 子 補 給 率
高 校	20～60 万円	3 年 以 内 (3か月据置)	元 金 均 等 月 賦 返 済	無 利 子	(30年度分) 4月1日以降0.9%
大 学	20～80 万円				(元年度分) 4月1日以降0.9%
					(2年度分) 4月1日以降0.9%
					(3年度分) 4月1日以降0.9%

※ 高校（専修学校の高等課程を含む。）大学（専修学校の専門課程を含む。）

イ 融資実行の状況

(単位：人、千円)

区分	高校	専修学校 (高等課程)	大学	専修学校 (専門課程)	合計
融資人員	2	0	0	2	4
融資金額	540	0	0	640	1,180

ウ 融資残高異動状況

(単位：人、千円)

区分	前年度末 融資残高 A	年度内 融資実行額 B	年度内 償還額 C	年度末融資残高 A+B-C
融資人員	5	4	償還完了 2	7
融資金額	1,372	1,180	724	1,828

(2) 育英資金（奨学金）融資

ア 融資の概要

区分	融資限度額	償還期間	償還方法	貸付利率	利子補給率
高校	公立 月額 2万円	卒業後 10年以内 (12か月据置)	元金均等 月賦返済	無利子	短期プライムレートを基準とした利率 10年 1.50%
	私立 月額 3万円				
大学	公立 月額 4万円				
	私立 月額 5万円				
外国への留学生一時金	100万円				

※ 高校（専修学校の高等課程を含む。）大学（専修学校の専門課程を含む。）

イ 融資実行の状況

(単位：人、千円)

区分	高校	専修学校 (高等課程)	大学	専修学校 (専門課程)	外国への 留学生	合計
融資人員	4(3)	0	16(10)	4(4)	0	24(17)
融資金額	2,040	0	15,840	2,400	0	20,280

※ () 内は新規に融資した人員を示し、内数である。

ウ 融資残高異動状況

(単位：人、千円)

区分	前年度末 融資残高 A	年度内 融資実行額 B	年度内 償還額 C	年度末融資残高 A+B-C
融資人員	74	24	償還完了 11	87
融資金額	60,414	20,280	14,277	66,417

3 教育相談経費

子どもの発達の・心理的問題、その他子育ての不安や心配など多岐にわたる相談に応じている。

年間の相談件数は来所579件、電話相談40件であった。

(1) 来所相談

579件のうち終結は202件、次年度への相談継続は377件であった。面談回数は、保護者2,971回、子ども1,412回で合計4,383回であった。

男女の割合は、男子は387件、女子は192件であった。

主な相談内容別件数（来所）

（単位：件）

区 分	幼 児	小 学 生	中 学 生	そ の 他	合 計
不 登 校	0	49	51	0	100
集 団 不 適 応	8	33	9	0	50
知 的 発 達	0	6	4	0	10
就 学	2	5	3	0	10
教 育 一 般	0	1	1	0	2
自 閉 症 ・ 同 疑	2	27	14	0	43
い じ め	0	2	1	0	3
そ の 他	61	239	61	0	361
合 計	73	362	144	0	579

(2) 電話相談

40件のうち男子は20件、女子は12件、不明8件であった。

主な相談内容別件数（電話）

（単位：件）

区 分	幼 児	小 学 生	中 学 生	そ の 他	合 計
不 登 校	0	4	11	1	16
集 団 不 適 応	0	1	0	0	1
教 育 一 般	0	1	4	2	7
自 閉 症 ・ 同 疑	0	0	0	0	0
い じ め	0	1	1	1	3
そ の 他	0	9	2	2	13
合 計	0	16	18	6	40

○ 特別支援総務費 (24,215,197円)

[学務課]

1 特別支援教育関係経費

(1) 青梅市特別支援教育推進協議会

青梅市の特別支援教育を円滑に進めていくための協議会を設置した。

青梅市特別支援教育推進協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
高橋 寛	医師		増田博司	市長部局	
島田博祐	学識経験者		塚本智信		
福島 賢	幼稚園長		須崎 実		
藤野唯基	保育所施設長		原島 明		
西ヶ谷 薫	社会福祉事業団職員		○ 渡辺慶一郎		
田口克己	特別支援学校長		加藤博之		
山本和彦			濱野 剛		1.1 就任
八木 慎一	小学校特別支援学級設置校長		◎ 浜中 茂	教育委員会事務局	
○ 山本 巖	中学校特別支援学級設置校長		芥川純一郎		
仁藤茂則	小学校長		榎戸 智		
高橋章次	中学校長		手塚成隆		
竹田雄二郎	教育相談所長		梶井ひとみ		
齋藤剛一	市長部局	12.31 退任	片桐光義		

任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は副会長

開催回数3回（第1回、第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議とした）

(2) 青梅市特別支援教育関係事業

ア 小・中学校への巡回・訪問相談の実施

(単位：回)

巡回・訪問先	巡回・訪問者	回数
小学校（12校）	明星大学教授、星美学園短期大学准教授、西多摩療育支援	16
中学校（4校）	センター心理相談員、臨床心理士	6

イ 理解・啓発研修会の実施

(単位：人)

開催日	内 容	対 象 者	講 師	受講者数
7. 21	特別支援教育理解推進のために（オンライン開催）	市民、学校関係者、特別支援学級介護員	みなと子育て応援プラザ pokke 非常勤職員、口筆画家 岡部 彩	118
10. 20	困った子・困っている子への理解と対応 ― 発達障害の子を中心に	学校教育活動支援員	青梅市教育相談所心理相談員 桑原 具象 新井美由紀 松村 舞花 植松 真由	30
12. 1	就学支援シートの活用について ～学校生活に向けた保護者との連携～	幼稚（児）園・保育所関係者	都立青峰学園 特別支援教育コーディネーター 穴吹 由美 野田 洋美	22

ウ 理解・啓発リーフレットの作成・配布

小学校に就学する児童の適切な就学を支援し、また保護者に就学支援シートの活用を周知するため、リーフレット「楽しい学校生活を送るために（就学支援シートの活用に向けて）」を作成し配布した。

支援を必要とする児童・生徒の保護者等に周知するため、リーフレット「特別な支援が必要な子ども達の就学について」を作成し配布した。

エ 就学支援シートの活用

特別な教育的支援が必要な子どもたちが、小学校での生活を円滑にスタートできるよう家庭や幼稚（児）園・保育所等での様子を小学校に引き継ぐ就学支援シートを作成し、その活用を推進した。

オ 副籍制度の実施

特別支援学校に通学している児童・生徒が、住んでいる地域の小・中学校に副次的な籍を置き、学校だよりの交換や学校行事に参加し交流を図った。

2 学校教育活動支援事業経費

小・中学校における教科指導や生活指導等を充実し、また特別支援教育の推進を図るため、学校教育活動支援員を配置した。

1 学校教育指導経費

(1) 指導の重点

児童・生徒一人ひとりに基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、豊かな心や体力を育み、個性や能力を生かして社会の変化に主体的に対応できる力を高めることを目指し、各学校の教育活動への指導・支援を行い、「生きる力」の育成に努めた。また、教員の資質・能力の向上を図るとともに、各学校における教育課程の編成・準備を円滑に進めることができるよう、指導・支援を行った。

(2) いじめ防止対策

- ア 「青梅市いじめの防止に関する条例」にもとづく2つの組織を運営した。
 「青梅市いじめ問題対策連絡協議会」計1回（書面開催）
 「青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会」計4回（うち1回書面開催）

(ア) 青梅市いじめ問題対策連絡協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 浜中 茂	教育委員会		横森 幸子	児童相談所	
○ 竹田雄二郎	教育相談所		名倉 一成	法務局	
木水 健	保護者代表	6.24 退任	副島多光生	警察	
山崎 栄次		6.16 退任	鈴木 亜英	法律	
福田 広樹		6.25 就任	中村 佳美	民生・児童委員代表	
小川 直理		6.17 就任	増田 博司	市長部局	12.31 退任
藤原 輝正	学校代表		濱野 剛		1. 1 就任
富田 聖和					

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日 ◎は会長、○は会長職務代理者

(イ) 青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 有村 久春	学識経験者		竹尾由紀子	民生・児童委員代表	
○ 池田 政次	市民		吉田 貴子	福祉	
吉村 正久			中島 恵	心理	
鈴木 亜英	法律		高橋 寛	医療	
長柴 久美	心理		八代 健二	警察	

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日 ◎は委員長、○は委員長職務代理者

- イ 令和2年2月および令和3年4月に報告した「いじめ重大事態の発生について」3件のうち2件については、それぞれ青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会調査部会による調査を実施し、1件については青梅市教育委員会による調査を実施した。

ウ 青梅市いじめ防止マニュアルについて、条例改正の経緯、いじめの相談について学校から教育委員会への報告等を追加するため、改訂作業を進めた。

エ 年4回の「学校や生活に関するアンケート」を行った。

オ 中学校区ごとに児童会・生徒会を中心に、「いじめゼロ宣言」について、スローガンを作成し、ホームページに掲載するなどいじめの根絶に向けた取組を行った。

カ いじめについての理解促進のため、市内全教職員対象に、いじめに関する研修を行った。

(3) 外国人児童・生徒に対する対応

ア 外国人児童・生徒学級

市内小・中学校に在籍する外国人および海外帰国児童・生徒のうち、希望者を対象に日常生活の指導および日本語の指導を行い、学校生活への適応を図った。

(ア) 通級者に対する指導

フィリピン2人、ベトナム2人の合計4人の在籍児童・生徒に対し75回の授業を行った。

(イ) 巡回指導

外国人児童・生徒が在籍している学校を訪問し、学校生活に適応するための指導および教員に対する助言等を行った。

イ 外国籍児童・生徒日本語指導員

日本語の指導を必要とする外国籍児童・生徒が在籍する市内小・中学校において、児童等の母国語であるポルトガル語、タガログ語を使用できる日本語指導員の配置申請があり指導員の公募を行ったが、応募がなく配置には至らなかった。

(4) 心の教育の推進

児童・生徒が自他をいつくしみ生命を大切にし、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付けるため、コロナ禍においても道德教育の充実を図るとともに、学校だよりやホームページ等を活用し、学校の情報発信を行うなど、家庭・学校・地域等が協働した心の教育を推進した。

(5) 青梅市小・中学校一貫教育の推進

一貫教育対象校ごとに設定した目指す児童・生徒像をもとに、全小・中学校が青梅の良さや各中学校区の特色を生かした取組を通して、9年間の義務教育を見通した学習指導および健全育成の充実を図る小・中学校一貫教育を推進した。

(6) オンライン生徒会交流会の開催

青梅市の将来を担う生徒が、「2032年未来の青梅」をテーマに、一人一台の学習用端末を活用した、オンライン上での他校との意見交換・交流を行い、市政運営に対して興味・関心を高めた。

期 日 12月22日（水）

代 表 者 中学生38人

(7) 青梅市教育委員会伝統文化奨励表彰

青梅市における伝統文化の継承、発展および児童・生徒の郷土愛の育成に資することを目的とし、青梅市の伝統芸能を継承する活動に取り組んでいる児童・生徒を表彰した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止とし、各学校にて校長から朝礼等で表彰した。

被表彰者 22人

(8) 教員の負担軽減に向けた人材の配置

副校長を補佐する非常勤職員を小学校12校、中学校2校に各1人配置し、印刷や授業準備など教員の補助を行うスクール・サポート・スタッフを小学校2校に各2人、小学校15校、中学校11校に各1人配置した。

さらに、従来の部活動顧問教員を補助する「部活動外部指導員」に加えて、部活動の技術指導や大会への引率等を職務とする「部活動指導員」を中学校9校に延べ18人配置した。

また、令和3年度から小学校において、外国語活動等を高度な専門性を有する学校外の人材に一部の授業を任せることで教員の負担を軽減する「特別非常勤講師」を4校に配置した。

(9) 研修委託

ア 教職員研修

小・中学校教科研究 969千円

イ 研究指定校

年 度	学 校 名	研 究 主 題
R3・R4	吹 上 小	確かな読みの力を身に付けた児童の育成～説明的文章を通して～
R3・R4	霞 台 中	「望ましい集団活動を通して、人間関係形成、社会参画、自己実現の3つの力を育む教育活動の実践」
R2・R3	若 草 小	「互いの立場や考えを尊重し、自分の考えを伝え合う児童の育成」 <主人公は君だ！伝え、受けとめ、成長しよう！>
R2・R3	藤 橋 小	「みんなが分かる授業づくり」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
R2・R3	第 七 中	「小規模校の特性を生かした主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」 ～多様な人々と協働した教育を通して、自ら学ぶ意欲をはぐくむ指導法の工夫～

(10) スクールカウンセラー

東京都のスクールカウンセラー活用事業により、全小・中学校に週1日のスクールカウンセラーが配置され、不登校やいじめ、問題行動等の改善に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策の長期化に伴う児童・生徒の心のケアを支援するため、東京都教育委員会より臨床心理士の臨時派遣が行われ、市内4校へ追加配置された。

2 不登校対策支援事業経費

(1) 適応指導教室（ふれあい学級）

ふれあい学級においては、小学生7人と中学生45人の計52人に対し、不安や悩みについての教育相談や習熟の程度に応じた学習指導を行うとともに体験学習（文化的施設見学）を実施し、在籍校への復帰および社会的自立に向け支援を行った。なお、例年では文化的施設見学の他に調理実習を2回実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度は中止とした。

(2) 登校支援

登校支援室を設置し、各校の不登校児童・生徒への取組を確認するとともに、2人のスクールソーシャルワーカーが家庭を訪問するなどして、登校への働きかけを行った。

主な相談内容別件数（スクールソーシャルワーカー）

（単位：件）

区 分	小 学 生	中 学 生	合 計
不 登 校	8	5	13
家 庭 環 境	7	2	9
虐 待	0	0	0
情 緒 不 安 定	0	0	0
発 達 障 害	1	0	1
非 行	0	0	0
学 習 相 談	0	0	0
い じ め	0	0	0
そ の 他	0	0	0
合 計	16	7	23

(3) 学校と家庭の連携推進事業

不登校等の生活指導上の課題に対応するため、東京都の「学校と家庭の連携推進事業費委託金」を活用し、4校へ家庭と子供の支援員の配置およびスーパーバイザーの派遣を行った。

3 英語特別指導関係経費

国際社会に生きるために必要なコミュニケーション能力の育成と国際理解の基礎を培うため、市立小中学校全校に、外国人英語指導助手を配置した。なお、適応指導教室にも同様に配置した。

4 教職員研修等経費

教職員の資質および指導力の向上を図るとともに、各校が特色ある教育課程を編成するために各種研修会等を実施した。

(1) 教職員研修等

(単位：回、人)

研修名	対象	回数	受講者数	目的・趣旨
校長研修	校長	1	27	学校の組織、運営および管理に関する研修を通して、校長に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、各学校における様々な教育課題に対応する能力を育成する。テーマ「学校力」を高める学校経営～危機管理と働き方改革を通して～」
副校長研修	副校長	1	28	学校の組織、運営および管理に関する研修を通して、副校長に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、各学校における様々な教育課題に対応する能力を育成する。テーマ「学校内におけるいじめ・不登校の組織的対応～被害者・加害者の心理を把握した上で対応～」
教務主任会	教務主任	6	28	教務主任の職責や校内における教務主任の実務に関する研修、情報交換等を通して、教務主任としての資質や能力を高め、自覚を深めるとともに、教務主任としての力量の一層の向上を図る。 第3回は外部講師を招へい。テーマ「学力向上推進プランを活用した授業改善推進のために、教務主任として実践すべきこと」
生活指導主任会	生活指導主任	11	28	青梅市の各小・中学校における生活指導上の諸問題の解決を図るために情報交換および研修を行い、具体的な問題の解決を図る。研修等を通して生活指導主任としての資質や能力を高め、自覚を深めるとともに、生活指導主任としての力量の一層の向上を図る。 第3回は外部講師を招へい。テーマ「高等学校における生活指導上の諸課題と指導」
若手教員育成研修1年次	3年度採用教員	10	35	新任教員に対して教員としての使命感・幅広い知見、実践的指導力等を習得させるとともに保護者・市民の期待や要請に応えるため、社会の変化に伴う教育課題の解決に対応できる資質の向上を目指す。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部オンラインにて開催。宿泊研修は内容を縮小し、オンライン開催。
若手教員育成研修1年次(宿泊研修)	3年度採用教員	1	35	
若手教員育成研修2年次	2年度採用教員	3	31	教材研究、指導計画の立案、評価等の検討および研究の進め方について実践的に研修を行い、2年目を迎えた教員の指導力および資質の向上を図る。一部オンライン開催。
若手教員育成研修3年次	元年度採用教員	3	45	教材研究、指導計画の立案等の授業研究および、外部との連携・折衝力等の研修を行い、3年目を迎えた教員の指導力および資質の向上を図る。一部オンライン開催。
市内視察研修	3年度採用教員	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。別途、市内文化財等について周知。
中学校進路指導主任会	進路指導主任	2	13	進路指導主任の職責を自覚し、各学校におけるキャリア教育の円滑な推進のために、各学校の取組についての情報交換や研修を通して、必要な資質や能力を高める。

(歳出 10 教育費)

研修名	対象	回数	受講者数	目的・趣旨
新任主幹教諭研修	3年度新任主幹教諭	1	5	主幹教諭の職責や学校の組織的な運営等に関する研修を通して、主幹教諭に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、将来管理職として学校経営を担う人材としての資質、能力を育成する。書面開催。
人権教育研修	人権教育推進担当教諭	4	28	青梅市における学校・地域の実態や人権教育推進上の課題に即して、教育内容・方法の改善・充実を図るための研究・協議を行うとともに、教員の人権意識・人権感覚の啓発を推進する。また、資料集「人権教育プログラム」や人権教育推進校の研究成果の活用を図る。5回のうち1回は中止。一部オンライン開催。
学校教育相談研修	3年度採用教員の希望者	1	28	学校における教育相談活動の充実、児童・生徒の側に立った授業の推進等、教育相談的手法を生かした教育活動の一層の充実を図り、多様化する問題行動や学校不適応等の予防と解決に向けた資質や能力の向上を図る。テーマ「教育相談所と学校との関わりについて」「いじめ事例検討」
情報セキュリティ研修 (未受講者対象研修)	3年度転任教員の採用教員	3	106	学校における情報資産を安全かつ適切に取り扱うための情報保護の重要性を理解し、基礎的な情報セキュリティ対策の理解・実践を図る。
情報セキュリティ研修 (管理職対象研修)	校長 副校長 情報担当教員	2	59	市内外の情報セキュリティ動向や情報セキュリティ監査等について周知し、セルフチェックによる振り返りを実施することで、情報セキュリティ対策の継続的実践を図る。
特別支援教育理解研修	特別支援教育担当教諭等	1	53	特別支援教育に対する理解を深め、特別支援教育に必要な資質や能力の向上を図る。外部講師を招へい。テーマ「特別支援教育推進のために」
教育経営研修	副校長 主幹教諭	1	58	小・中学校の副校長および主幹教諭を対象に、青梅市における喫緊の教育課題（いじめ問題等）について、外部講師を招へいし理解を深める。 テーマ「学校内におけるいじめ・不登校の組織的対応～被害者・加害者の心理を把握した上で対応～」
ICT活用推進委員会	ICT活用推進委員	6	47	学習用端末の効果的な活用方法について検討し、基礎的な能力の育成や情報収集による教育の質的改善・充実を図る。令和3年度は学習用端末の導入に伴い、ICTを活用した授業を市の重点項目として設定。
水泳指導研修	水泳指導担当教諭	1	28	安全な水泳指導のあり方と事故防止について研修を実施するとともに都が実施した中央講習会の内容の伝達を通して、最新の水泳指導の考え方や進め方について伝達講習を実施し、円滑な水泳指導に資する。
普通救命講習	3年度採用教員の希望教諭	1	26	事故発生時に備え、普通救命講習（AED講習を含む。）を実施する。
教育課題研修	主幹教諭	2	23	4市1郡の共催事業として実施し、西多摩地域における教育課題について、その課題解決の方向や具体的な方策についての理解を深め、学校改善に資する。第1回テーマは「今日的な生活指導の課題とその対応について」、第2回テーマは「ICTを効果的に活用した学習指導」オンラインにて開催。

研 修 名	対 象	回 数	受 講 者 数	目 的 ・ 趣 旨
中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	在職期間が10年に達した教員	8	18	教育公務員特例法にもとづき、教諭等としての在職期間が10年に達した教員に対し、学習指導、生活指導・進路指導に関する指導力の向上、教育公務員としての資質向上のために研修を実施する。一部、オンライン研修で実施。
特別支援教育コーディネーター研修	特別支援教育コーディネーター	2	77	東京都および青梅市内の各学校における特別支援教育の実施状況について理解するとともに、講義・演習、情報交換や協議を通してコーディネーターとして各校における特別支援教育を推進させるための資質や能力の育成を図る。オンラインにて開催。
外国語教育担当者連絡会	外国語活動・外国語担当教諭	3	27	AETの効果的な活用等、外国語科、外国語活動の充実を図る。一部、オンラインにて開催。
柔道（武道）研修	保健体育科教諭	1	9	中学校保健体育科の体育分野の内容「武道」について、基礎的な知識や技能等に関する柔道研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。実技研修は中止。安全への配慮や受け身や技について研修。

(2) 校内研修

- ア 教育目標を達成するため、各学校が児童・生徒の実態に応じた教育課題を取り上げ、実践研究を中心に校内研修を実施した。
- イ 警察等と連携し、薬物乱用防止教室を全校で実施した。

(3) その他の研修

学校における様々な教育課題への対応や、教員の指導力向上を図ることを目的とし、次の委員会を設置した。

- ア 人権教育推進委員会
- イ 道徳教育推進委員会
- ウ 学力向上推進委員会（兼ICT活用推進委員会）
- エ 健康体力向上推進委員会（兼食育リーダー連絡会）

5 学校運営連絡協議会経費

新型コロナウイルス感染拡大防止により、学校行事や授業参観が制限される中、学校運営連絡協議会および学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施による市民の学校運営への参画等を通して、学校と地域との連携の推進を図った。

また、各学校における自己評価とともに、学校関係者評価を実施し、学校評価結果の公表を行うとともに、学校運営や教育活動の状況について説明し、保護者、地域の教育活動への理解に努めた。

6 小・中学生の主張大会開催経費

第17回青梅市小・中学生の主張大会の開催

将来の夢や生き方、身近な生活や社会に対する考え方、郷土への思いなどをテーマに、市内在住小学5・6年生および中学生から2,620点の応募があった。1次、2次審査を通過した、小学生6人、中学生10人の計16人が発表し、発表内容により、青梅市長賞、青梅市教育委員会賞、審査委員特別賞を授与した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観客を制限(発表者の保護者のみ参観)して実施した。発表者の様子については、後日、指導室からオンラインで限定配信を行い、学校関係者等が視聴できるようにした。

- (1) 期 日 12月4日(土)
 (2) 会 場 文化交流センター
 (3) 受賞者

ア 青梅市長賞

	人数	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
小学生	1	新町小	6年	吉永 蒼士	続ける努力
中学生	2	第七中	3年	小川 和真	伝統文化の継承について
		第三中	3年	松橋 大輝	私達の青梅を廃れさせないために

イ 青梅市教育委員会賞

	人数	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
小学生	2	第六小	6年	鈴木 勘宰	繋がりと勇気
		第二小	6年	野寄 一晴	笑顔こそ世界平和
中学生	2	西中	3年	君田 枇杷	試みることの大切さ
		吹上中	2年	石井 咲衣	未来のために

ウ 審査委員特別賞

	人数	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
小学生	3	第二小	6年	萩原 千夏	LGBT への優しさ
		第七小	6年	宿谷 綺星	自然をもどす
		若草小	6年	畑中 龍弥	国際理解講座に参加して
中学生	6	第三中	3年	五十嵐 心羽	犬が教えてくれたこと
		新町中	1年	伊東 知紀	命を変える一言
		西中	3年	市川 裕大	明るい青梅市を目指して
		第二中	2年	小林 俊介	挨拶の力
		新町中	1年	一之宮 美空	性のあり方は人の個性
		西中	2年	伊東 杏純	読書

7 学びと心の育成事業経費

学力向上・いじめ防止を主な目的とし、地域と学校に誇りと夢をもって、たくましく次代を切り開いていく児童・生徒を育成するため、各学校の裁量を生かした「学びと心の育成事業」を通して、郷土に根ざした特色ある教育活動の推進を図った。

(1) 小学校

学校名	事業名	実施内容
第一小	①「学校ふるさと」事業 ②「学力向上」事業 ③「登校支援」事業	・園芸体験・自然体験 ・伝統文化体験・青梅学 ・学力向上・読書活動 ・登校支援
第二小	「学校大好き、地域大好き、青梅大好き」かがやけ 二小の子!	・学力向上・読書活動 ・いじめ防止・登校支援 ・自然体験・青梅学
第三小	表現活動の推進、読書活動の推進、青梅学の推進、学校環境・学習環境・ICT環境の整備改善	・学力向上・環境整備 ・読書活動 ・音楽体験（和太鼓、管楽器、ダンス） ・自然体験・青梅学
第四小	豊かな情操とたくましい体をはぐくむ教育活動の充実	・音楽体験（金管バンド演奏） ・園芸体験・清掃活動 ・読書活動・学力向上 ・体力向上
第五小	「五小 学びと心プロジェクト」～よさを輝かせ、ともに高め合う子の育成～	・学力向上・環境整備 ・自然体験・青梅学 ・いじめ防止・登校支援 ・障害者理解教育・キャリア教育
第六小	三田っ子育成推進事業～地域に根ざした学校、児童の育成を目指して～	・学力向上 ・いじめ防止・登校支援 ・環境整備 ・伝統文化体験・青梅学
第七小	学力向上を目指し、特色あふれる地域との連携を活かしたプロジェクト	・学力向上 ・防災教育（避難所開設訓練） ・自然体験・青梅学 ・読書活動（読み聞かせ）
成木小	生き生きと個性や能力を発揮する児童の育成	・音楽体験（ブラスバンド講師招へい） ・自然体験・青梅学
河辺小	輝け河辺っ子 地域とともに	・学力向上 ・環境教育・青梅学 ・体力向上
新町小	「学び高めあう新町の子供たち」学力向上を図るとともに、豊かな心、健やかな体力を育み、たくましく生きる力を高める	・学力向上・登校支援 ・授業改善 ・農業、園芸体験
霞台小	子供の学びと心を豊かにする教育活動の推進	・いじめ対策（QUテストの実施） ・学力向上 ・キャリア教育
友田小	友田小学校学びと心の育成プラン	・学力向上・体力向上 ・環境整備 ・読書活動 ・自然体験・青梅学

学校名	事業名	実施内容
今井小	今井小学校 学と心の育成事業 「10年先を生きる力の育成」	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・読書活動 ・いじめ防止・登校支援 ・音楽体験（金管バンド、楽器の充実） ・自然体験・青梅学
若草小	「豊かな学びの場 わかくさ」づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽体験（金管バンド・和楽器） ・いじめ防止・登校支援 ・環境整備
藤橋小	「学び高めあいをする藤橋小の子供たち」学力向上を図るとともに、豊かな心、健やかな体力をはぐくみ、たくましく生きる力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・読書活動 ・体力向上 ・いじめ防止・登校支援 ・環境整備
吹上小	児童の体験を重視した学力・体力向上と心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・体力向上 ・自然体験・青梅学 ・障害者理解教育・キャリア教育
東小	心わくわく「おしゃれ村」体験2021	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・園芸体験 ・調理・創作活動 ・学力向上

(2) 中学校

学校名	事業名	実施内容
第一中	青梅一中 学びと心の育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止・登校支援 ・環境整備 ・伝統文化体験・青梅学 ・学力向上・キャリア教育
第二中	学びと心の育成事業推進委員会 「育もう 輝く希望の芽」	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動 ・登校支援 ・ICTの活用推進
第三中	キラリ振る舞い三中生育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・読書活動 ・農業、園芸体験 ・いじめ防止（心の相談アンケート） ・環境整備
西中	青梅市立西中学校・学びと心の育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育・保健教育 ・学力向上・体力向上 ・読書活動
第六中	主体的・対話的で深い学びを実現し、若竹のように伸びゆく六中生	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 ・自然、農業体験・青梅学
第七中	七中心豊かな人材育成活動（学力向上、環境整備、体力向上・地域の人材活用）	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 ・福祉体験 ・環境教育・体力向上 ・伝統文化体験
霞台中	青梅市立霞台中学校「花いっぱい笑顔いっぱい霞台」活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 ・園芸体験
吹上中	吹上中学校学びと心の育成事業「居場所づくり、絆づくり、感性豊かな吹中生の育成」	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動 ・環境整備・健全育成 ・環境教育・地域貢献 ・いじめ防止・登校支援
新町中	自分も他人も大切に作る心のふれあう新町中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・体力向上 ・環境美化 ・伝統文化体験（茶道）

学校名	事業名	実施内容
泉中	Heart & Learn IZUMI	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育 ・読書活動 ・学力向上
東中	学びと心の体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上（剣道講師） ・園芸体験 ・講演会の実施（福祉体験） ・環境整備

8 学力向上対策事業経費

(1) 放課後等の補習事業「ステップアップクラス」

「青梅市学力向上対策事業」として、小学校16校・中学校10校で、休校期間を除く、放課後または長期休業等に「ステップアップクラス」を実施した。

(2) 中学校3年生向け受験対策事業「スタディ・アシスト」

「青梅市学力向上対策事業」として、文化交流センターおよび市役所等で「スタディ・アシスト」を実施した。

実施回数 38回

参加者数 48人

9 教育情報システム経費

(1) G I G Aスクール構想の推進

G I G Aスクール構想にもとづく一人一台の学習用端末の活用に対応したインターネット回線の運用を開始した。また、より円滑なインターネット利用のために、I C T教育推進校の第一小学校、第一中学校、吹上中学校において回線契約の変更を行った。

区分	金額	説明
通信運搬費	2,609千円	一人一台の学習用端末の活用にかかる回線使用料
委託料	990千円	回線契約変更に伴う設定変更委託料

(2) その他コンピュータ機器の整備

区分	金額	説明
電子計算機器賃借料	33,350千円	パソコン、プリンタ等

○ 学 校 給 食 費 (1,025,340,015円) [学校給食センター]

1 給食センター経費

(1) 青梅市立学校給食センター運営審議会委員 開催回数 3回

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 百 合 陽 子	教育委員会委員		清 水 省 吾	知 識 経 験 者	
関 谷 望	学 校 長		片 平 潤 一		
神 尾 健 彦		4.1就任	田 中 三 広		
○ 高 橋 章 次			萩 原 勝	7.14退任	
青 山 隆 志			鈴 木 秀 紀	7.14退任	
			松 澤 義 明	保 護 者 代 表	7.15就任
			黒 米 正 典		7.15就任

任期：令和3年9月1日～令和5年8月31日 ◎は会長、○は副会長

(2) 給食人員、学校給食費（保護者負担額）等 (人員は令和3年5月1日現在)

区 分	給 食 人 員	月 額	年 間 給 食 基 本 回 数	給 食 期 間	
小 学 校	6,288 人	低 学 年	3,850 円	185 回	4.7～3.23
		中 学 年	4,100 円		
		高 学 年	4,350 円		
中 学 校	3,495 人	4,900 円	180 回	4.8～3.24	
合 計	9,783 人				

(3) 給食材料費 (単位：日、千円)

給 食 提 供 期 間	学 校 給 食 セ ン タ ー 稼 働 日 数	金 額
4.7～3.24	203	465,215

2 新学校給食センター建設経費

(1) 債務負担行為にもとづく業務委託 (単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	令和2年度 支 払 額	令和3年度 支 払 額	受注者	契約 工期
青梅市学校給食センター整備事業支援業務委託	新学校給食センター整備事業を適切に実施していくため、発注に必要な書類の作成等	9,900	0	9,900	パシフィックコンサルタンツ株式会社首都圏本社	2.11.16 ～ 3.9.30

(2) 調査委託

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約工期
土地利用履歴等調査委託	新学校給食センター整備事業に必要な東京都環境確保条例・土壌汚染対策法にもとづいた調査	495	帝人エコ・サイエンス株式会社	5.25 ～7.30
土壌汚染状況調査委託		4,818	株式会社環境総合リサーチ	8.31 ～2.28

○ 私立学校費 (404,298,985円) [子育て推進課]

私立幼稚園等の園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を目的として園児の保護者に対し補助金を交付した。

幼稚園教員の資質向上を目的とした研修、心を育む保育の充実・向上を目的とした事業、教材等の整備など、幼児教育の充実を図ることを目的とした補助金および私立幼稚園への就園促進を目的とした未就園児事業を行うための補助金を私立幼稚園協会に交付した。

市内私立幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）（令和3年5月1日現在、単位：人）

園名	設置主体	園長名	所在地	園児定員	実員
青梅幼稚園	学校法人	横山牧人	河辺町7-2-3	100	58
四恩幼稚園	学校法人	築山滋	天ヶ瀬町1032	185	88
福島学園幼稚園	学校法人	福島賢	千ヶ瀬町6-763	400	91
聖母幼稚園	学校法人	富永七重	勝沼1-197-1	150	37
青梅あけぼの幼稚園	学校法人	大谷唯信	梅郷3-904-3	100	22
ねむのき幼稚園	個人	塩野治	新町2-33-4	245	102
合 計				1,180	398

※ 園児定員は幼稚園部分のみの定員を記載。

1 私立幼稚園助成経費

(1) 青梅市私立幼稚園協会補助金 (単位：千円)

名称	補助金額	備考（補助上限）
私立幼稚園協会教員研修補助金	1,295	教員1人当たり24,000円×54人
私立幼稚園協会心を育む保育実施補助金	770	施設割 1園100,000円×6園 園児数割 1人400円×424人
私立幼稚園教育環境整備費補助金	939	施設割 1園100,000円×6園 園児数割 1人800円×424人
私立幼稚園就園促進事業補助金	1,120	事業1回 当たり 8,000円×140回

(歳出 10 教育費)

(2) 青梅市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金

ア 私立幼稚園等園児保護者補助金

私立幼稚園、認定こども園または幼稚園類似の幼児施設の園児の保護者の経済的負担を軽減するため、市民税の所得割額等に応じ6階層に分類し、補助金を交付した。

(ア) 総括表

(単位：人、千円)

区 分		対象園児数	市 補 助	都 補 助	合 計
市 内	幼 稚 園	0	0	0	0
	新制度移行幼稚園	240	9,606	5,316	14,922
	認 定 こ ど も 園	162	5,497	3,310	8,807
	類 似 幼 児 施 設	17	2,041	4,361	6,402
市 外	幼 稚 園	133	4,406	2,013	6,419
	新制度移行幼稚園	143	3,786	2,857	6,643
	認 定 こ ど も 園	19	395	363	758
	類 似 幼 児 施 設	7	184	0	184
合 計		721	25,915	18,220	44,135

(イ) 所得階層別交付内訳

(単位：人、千円)

階 層 区 分	対 象 園 児 数	交 付 額
生 活 保 護 世 帯 市民税所得割非課税世帯のうち ひとり親等世帯	14	1,023
市民税所得割非課税世帯 市民税所得割額が77,100円以下の 世帯のうち、ひとり親等世帯	48	1,990
市 民 税 所 得 割 額 が 77,100 円 以 下 の 世 帯	47	2,902
市 民 税 所 得 割 額 が 211,200 円 以 下 の 世 帯	386	23,189
市 民 税 所 得 割 額 が 256,300 円 以 下 の 世 帯	82	4,920
市 民 税 所 得 割 額 が 256,300 円 を 超 え る 世 帯	144	10,111
合 計	721	44,135

(ウ) 年齢別交付内訳

(単位：人)

年 齢	市 内				市 外				合 計
	幼稚園	新制度 幼稚園	認 定 こども園	類 似 幼児施設	幼稚園	新制度 幼稚園	認 定 こども園	類 似 幼児施設	
5 歳 児	0	79	50	8	44	51	10	4	246
4 歳 児	0	63	55	7	55	37	6	0	223
3 歳 児	0	63	41	1	27	42	2	2	178
満 3 歳 児	0	35	16	1	7	13	1	1	74
合 計	0	240	162	17	133	143	19	7	721

イ 私立幼稚園等入園料補助金

私立幼稚園、認定こども園または幼稚園類似の幼児施設の園児の保護者の入園時の経済的負担を軽減するため、入園料補助金を交付した。(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	補 助 単 価	交 付 額
5 歳 児	2	10,000円	20
4 歳 児	18		176
3 歳 児	96		944
満 3 歳 児	72		690
合 計	188		1,830

※ ただし、入園料が補助金額を下回る場合には、入園料の額を限度額とする。

ウ 幼稚園施設等利用費補助金

私立幼稚園等の園児の保護者の保育料の負担を軽減するため、幼稚園施設等利用費補助金を交付した。(対象となる園児は、幼稚園に通園する園児で、新制度に移行した幼稚園、認定こども園および幼稚園類似の幼児施設に通園する園児は対象とならない。)(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	補 助 単 価	交 付 額
5 歳 児	44	308,400円	13,107
4 歳 児	55		15,518
3 歳 児	27		7,581
満 3 歳 児	7		1,250
合 計	133		37,456

※ ただし、保育料が補助金額を下回る場合には、保育料の額を上限とする。

エ 実費徴収にかかる補足給付事業費補助金

私立幼稚園等の園児で、市民税所得割額が77,100円以下の世帯または全所得階層の第3子以降の子どもに対し、副食材料費の一部を月額4,500円の範囲で交付した。
 (対象となる園児は、幼稚園に通園する園児で、新制度に移行した幼稚園、認定こども園および幼稚園類似の幼児施設に通園する園児は対象とならない。)

(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	交 付 額
5 歳 児	4	141
4 歳 児	4	102
3 歳 児	4	123
満 3 歳 児	1	21
合 計	13	387

オ 預かり保育利用費補助金

私立幼稚園等の園児の保護者の預かり保育料の負担を軽減するため、保育の必要性の認定を受けた園児を対象に、利用日数に応じて日額450円、月額11,300円
 (満3歳児は非課税世帯のみ対象で月額16,300円)の範囲で補助金を交付した。

(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児	交 付 額
5 歳 児	61	2,180
4 歳 児	57	1,870
3 歳 児	42	1,313
満 3 歳 児	2	56
合 計	162	5,419

2 私立幼稚園事業経費

(1) 施設型給付費負担金

(単位：人、千円)

区 分	延 人 数	金 額	
1号認定	青 梅 幼 稚 園	696	62,964
	青梅あけぼの幼稚園	293	30,560
	聖 母 幼 稚 園	498	50,145
	福 島 学 園 幼 稚 園	1,139	67,535
	市 外 幼 稚 園	1,632	91,796
合 計	4,258	303,000	

(2) 保育士等処遇改善臨時特例事業交付金

(単位：施設、千円)

施 設 数	補 助 金 額
4	790

3 新型コロナウイルス対策私立幼稚園支援事業経費

安全安心な幼児教育環境の整備のために私立幼稚園が実施した新型コロナウイルス感染症対策事業に対し、補助金を交付した。

(単位：千円)

園名	補助金額	購入備品等
青梅幼稚園	655	マスク、消毒液、ペーパータオル、パーテーション、体温計、空気清浄機等
四恩幼稚園	900	
福島学園幼稚園	899	
聖母幼稚園	237	
青梅あけぼの幼稚園	102	
ねむのき幼稚園	638	
もみの木幼児園	600	
合 計	4,031	

(歳出 10 教育費)

小 学 校 費

1, 805, 077, 100円

○ 小 学 校 総 務 費 (1, 429, 228, 185円)

[教育総務課]

1 各 学 校 管 理 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により年度内に完成しなかった卒業アルバムの経費として各学校に配当している学校管理経費印刷製本費のうち一部経費を翌年度繰越とした。

(1) 翌年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

学 校 名	予 算 額	3 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
成 木 小	22	0	22	22
若 草 小	12	0	12	12
合 計	34	0	34	34

(2) 前年度繰越事業 (事故繰越)

(単位：千円)

学 校 名	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	計
第 三 小	11	0	11	11
成 木 小	22	0	22	22
若 草 小	11	0	11	11
合 計	44	0	44	44

2 教 育 振 興 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業が完了しなかった学校について、翌年度繰越とした。

(1) 翌年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

事業名称	予 算 額	3 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
卒 業 ア ル バ ム 等 保 護 者 負 担 助 成 金	2,084	1,892	180	2,072

(2) 前年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

事業名称	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	計
卒 業 ア ル バ ム 等 保 護 者 負 担 助 成 金	2,198	1,696	482	2,178

3 学 校 施 設 整 備 経 費

(1) 委 託 業 務

(単位：千円)

委 託 名 称	委 託 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 期 間
友 田 小 学 校 ほ か 3 校 ト イ レ 改 修 設 計 委 託	友 田 小、藤 橋 小、西 中、泉 中 の 校 舎 の 既 存 ト イ レ の 改 修 に 伴 う 実 施 設 計 (小 学 校 分)	4,730	(株)S・Kアート デザインオフィス	6.11 ～1.28

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
友田小学校ほか7校 アスベスト含有調査委託	友田小、藤橋小、第一中、第二中、西中、第七中、新町中、泉中のアスベスト含有が疑われる建材のアスベスト含有分析調査(小学校分)	852	ユーロフィン日本 総研(株) 東京事業所	11.2 ～2.14
合計	2件	5,582		

(2) 整備工事

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
第五小学校校舎屋上防水 および外壁改修工事	校舎の屋上防水および外壁 改修工事	135,003	(株)ナガサワ	7.6 ～11.30
第三小学校屋内運動場 天井等改修工事	屋内運動場の天井仕上材剥 落防止等のための改修工事	29,687	(株)山崎工務店	7.2 ～11.30
合計	2件	164,690		

(3) その他小学校施設整備工事

(単位：千円)

学校名	工事内容	契約金額
第一小	職員女子トイレ等改修工事ほか2件	9,526
第二小	舗装改修工事	1,287
第三小	水晶式親時計およびプログラムチャイム交換工事ほか7件	5,507
第四小	プール排水ポンプ等交換工事	484
第五小	消火栓配管改修工事ほか3件	4,383
第六小	水晶式親時計およびプログラムチャイム交換工事ほか1件	1,846
河辺小	プールろ過ポンプ交換工事	671
友田小	遊具補修工事ほか1件	1,469
若草小	屋内運動場軒樋防水補修工事ほか1件	961
藤橋小	校庭防球ネット補修工事ほか1件	1,007
吹上小	プールろ過ポンプ取替工事ほか2件	2,542
その他	遊具補修等工事ほか7件	6,175
合計	37件	35,858

(4) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

ア 委託業務

(単位：千円)

委託名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
藤橋小学校校舎外壁等 改修工事 監理委託	2,629	0	2,629	2,629

(歳出 10 教育費)

イ 整備工事

(単位：千円)

工事名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
友田小学校 トイレ改修等工事	78,232	0	78,232	78,232
藤橋小学校 トイレ改修工事	89,699	0	89,699	89,699
第七小学校 特別教室等 空調機整備工事	64,485	0	64,485	64,485
吹上小学校 特別教室等 空調機整備工事	65,304	0	65,304	65,304
藤橋小学校 校舎外壁および 屋上防水 改修等工事	138,336	0	138,336	138,336
合計	436,056	0	436,056	436,056

(5) 前年度繰越事業(繰越明許費)

(単位：千円)

工事名称	工事内容	金額	2年度 支払額	3年度 支払額	受注者	契約工期
河辺小学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの 床、壁、天井、ト イレブース、給排 水衛生設備等の 改修工事	133,100	0	133,100	(株)島田組	6.11 ～2.28
霞台小学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの 床、壁、天井、ト イレブース、給排 水衛生設備等の 改修工事	130,900	0	130,900	岩浪建設(株)	6.11 ～2.28
若草小学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの 床、壁、天井、ト イレブース、給排 水衛生設備等の 改修工事	122,650	0	122,650	佐久間建設 (株)青梅支店	6.15 ～2.28
河辺小学校 トイレ改修に伴う 屋上防水改修工事	トイレの改修に 伴う屋上防水改 修工事	990	0	990	(株)ナガサワ	7.7 ～9.17
霞台小学校 トイレ改修に伴う 外壁等改修工事	トイレの改修に 伴う屋上防水お よび外壁改修工 事	4,537	0	4,537	(株)原美装	6.18 ～1.31
若草小学校 トイレ改修に伴う 外壁等改修工事	トイレの改修に 伴う屋上防水お よび外壁改修工 事	20,842	0	20,842	(株)ナガサワ	7.2 ～1.31

工事名称	工事内容	金額	2年度 支払額	3年度 支払額	受注者	契約工期
第一小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室等の空調機改 修および受変電 設備等の改修工 事	75,803	0	75,803	石崎工業(株)	6.8 ～11.30
第三小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室の空調機改修 および受変電設 備等の改修工事	44,874	0	44,874	(株)青和施設 工業所	6.15 ～11.30
第四小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室等の空調機改 修および受変電 設備等の改修工 事	76,019	0	76,019	田中工業(株)	6.8 ～11.30
第五小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室の空調機改修 および受変電設 備等の改修工事	51,012	0	51,012	飯沼電気(株) 西支店	6.11 ～11.30
友田小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室の空調機改修 および受変電設 備等の改修工事	42,887	0	42,887	飯沼電気(株) 西支店	6.15 ～11.30
今井小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室の空調機改修 および受変電設 備等の改修工事	63,730	0	63,730	(株)サンキデ ン	6.11 ～11.30
藤橋小学校 特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への 空調機の設置、老 朽化した管理諸 室の空調機改修 および受変電設 備等の改修工事	65,172	0	65,172	(株)荒井電業 社	6.11 ～11.30
合 計	13 件	832,516	0	832,516		

(歳出 10 教育費)

4 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業経費

感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童・生徒の学びの保障をする体制の整備を図った。

(1) 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業 (単位：千円)

学 校 名	金 額	主な整備品等
第 一 小	150	診察台等
第 二 小	200	飛沫防止パーテーション等
第 三 小	200	手指消毒剤等
第 四 小	150	トナーカートリッジ等
第 五 小	150	二酸化炭素濃度測定器等
第 六 小	100	飛沫防止パーテーション等
第 七 小	100	トナーカートリッジ等
成 木 小	100	消毒用アルコールタオル等
河 辺 小	150	WEBカメラ等
新 町 小	194	消毒用アルコールタオル等
霞 台 小	150	アルコールディスペンサー等
友 田 小	100	スクールタイマー等
今 井 小	150	指導書等
若 草 小	200	WEBカメラ等
藤 橋 小	100	除菌ウェットティッシュ等
吹 上 小	100	除菌ウェットティッシュ等
東 小	99	消毒用アルコールタオル等
合 計	2,393	

(2) 前年度繰越事業（繰越明許費） (単位：千円)

学 校 名	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	主な整備品等
第 一 小	1,199	0	1,199	WEBカメラ、飛沫防止パーテーション等
第 二 小	1,592	0	1,592	空気清浄機、飛沫防止パーテーション等
第 三 小	1,600	0	1,600	スピーカー、飛沫防止パーテーション等
第 四 小	1,200	0	1,200	非接触型体温計、液晶テレビ等
第 五 小	1,200	0	1,200	非接触赤外線検温計、飛沫防止パーテーション等
第 六 小	800	0	800	非接触赤外線検温計、飛沫防止パーテーション等
第 七 小	799	0	799	非接触型体温計、網戸等
成 木 小	800	0	800	非接触型温度測定消毒器、WEBカメラ等
河 辺 小	1,200	0	1,200	飛沫防止パーテーション、加湿器等
新 町 小	1,597	0	1,597	飛沫防止パーテーション、液晶テレビ等
霞 台 小	1,200	0	1,200	飛沫防止パーテーション、液晶テレビ等
友 田 小	800	0	800	空気清浄機、飛沫防止パーテーション等
今 井 小	1,200	0	1,200	マグネットスクリーン、書画カメラ等
若 草 小	1,600	0	1,600	空気清浄機、飛沫防止パーテーション等
藤 橋 小	800	0	800	デジタルビデオカメラ、液晶テレビ等

学 校 名	金 額	2年度 支払額	3年度 支払額	主な整備品等
吹 上 小	799	0	799	指導書、ヘッドフォン等
東 小	799	0	799	空気清浄機、デジタル教科書等
合 計	19,185	0	19,185	

5 新型コロナウイルス対策学校における感染症対策等支援事業経費

児童・生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校の感染症対策等を講じる取組および児童・生徒の学びの保障をするための取組を促進する。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

事業名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルス対策学校における感染症対策等支援事業	21,150	0	21,150	21,150

○ 小 学 校 学 務 費 （ 1 0 5 , 9 9 1 , 9 0 0 円）

[学務課]

1 保健衛生経費

(1) 各種検診実施状況

（単位：人）

検 診 名	対 象	受診者	受 診 結 果 等
結 核 検 診	全 学 年	5,645	精密検査受診者 4 要医療・観察 0
心 臓 病 検 診	1 学 年	923	二次受診者 6 心電図異常 10 要医療・観察 8
耳鼻咽喉科検診	全 学 年	5,611	要医療・観察 2,422
眼 科 検 診	全 学 年	5,580	要医療・観察 708
腎臓病等検診 （尿検査）	全 学 年	5,645	二次受診者 42 三次受診者 腎臓病 4 糖尿病 2
歯 科 検 診	全 学 年	5,591	永久歯のう歯経験者 665
脊柱・胸郭および 四肢の検査	全 学 年	5,586	脊柱・胸郭・四肢異常 20
	5 学 年 (モアレ検査)	932	二次受診者 3 要医療・観察 47

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度加入状況

（単位：円、人、千円）

対 象	種 別	掛金単価	加入者数	金 額
全学年	一般・準要保護児童	935	5,578	5,215
	要 保 護 児 童	55	97	5
	追 加 加 入 者	935	7	7
	合 計		5,682	5,227

（歳出 10 教 育 費）

2 就学困難児童就学奨励経費

(単位：人、千円)

区 分	人 員	金 額	区 分	人 員	金 額
学 用 品 費	654	8,604	林 間 ・ 移 動 教 室 費	183	1,770
特 別 扶 助 費	96	4,902	医 療 費	0	0
給 食 費	649	28,481	通 学 費	7	124
校 外 活 動 費	324	501	合 計		44,382

○ 小学校特別支援教育費 (51,246,945円)

[学務課]

特別支援学級(知的障害、言語・難聴、情緒障害)経費

1 児童宿泊学習

宿泊を通して基本的な生活習慣を身に付けさせ、身辺自立の確立を図るとともに、集団生活の中で協調性・自主性を伸ばすことを目的として実施した。

(単位：人、千円)

学校名	種 別	参加児童数	宿 泊 地	金 額
第一小	知 的	20	山梨県甲府市 10.22~10.23	278
第四小		35	山梨県甲府市 10.21~10.22	228
第二小	情 緒	43	東京都青梅市 11.15~11.16	475
合 計		98		981

第三小(知的)、若草小(情緒)、吹上小(情緒)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

2 特別支援学級(通級による指導)への通級状況

(令和3年5月1日現在、単位：人)

学校名	種 別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
河 辺 小	難 聴	1	0	0	2	1	2	6
	言 語	5	18	13	8	4	14	62
合 計		6	18	13	10	5	16	68

3 特別支援教室の利用状況

(令和3年5月1日現在、単位：人)

学校名	区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
第四小	拠点校	2	5	3	5	3	3	21
第七小	巡回校	0	0	0	1	0	0	1
成木小	巡回校	0	0	0	0	0	1	1
吹上小	巡回校	1	1	8	6	2	7	25
第六小	拠点校	1	3	1	1	1	2	9
第一小	巡回校	3	0	3	3	5	3	17
第五小	巡回校	2	0	3	8	3	5	21
霞台小	拠点校	4	2	3	6	4	3	22
新町小	巡回校	5	2	4	4	10	3	28

学校名	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
若草小	巡回校	2	2	5	6	2	2	19
友田小	拠点校	3	3	1	2	3	3	15
第二小	巡回校	2	0	1	0	1	1	5
河辺小	巡回校	4	1	4	7	5	9	30
藤橋小	拠点校	1	2	3	2	5	5	18
第三小	巡回校	3	1	5	4	3	1	17
今井小	巡回校	3	3	1	2	1	1	11
合計		36	25	45	57	48	49	260

○ 小学校指導費 (218,610,070円) [指導室]

1 各種行事实施等経費

各種行事委託

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
音 楽 鑑 賞 教 室	0	6月18日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
諸 行 事 児 童 派 遣	2,652	各種大会参加費等
合 計	2,652	

2 移動教室実施経費

(1) 移動教室児童保護者助成

小学校6年生を対象とした移動教室の実施に際し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

目 的 地	実 施 校 数	人 員	助 成 単 価	金 額
日 光 方 面	15 校	946 人	21,000 円	19,883 千円
富 士 五 湖 方 面	1 校	67 人	21,000 円	1,407 千円
合 計	16 校	1,013 人		21,290 千円

※ 小規模校は23,000円

(2) 青梅を学ぼう宿泊助成

小学校5年生を対象とした青梅学の実施に際し、保護者負担の軽減を図るため、上限10,000円として助成金を支給した。

目 的 地	実 施 校 数	人 員	助 成 単 価	金 額
御 岳 山	14 校	821 人	10,000 円	6,680 千円
市 内	2 校	112 人	10,000 円	522 千円
合 計	16 校	933 人		7,202 千円

(歳出 10 教 育 費)

(3) 移動教室取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため移動教室等への参加を取りやめた児童の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

目的地	該当校数	人員	金額
御岳山	2校	3人	5千円

3 教育情報システム経費

(1) G I G Aスクール構想の推進

東小学校を除く市内全小学校に、通常学級数分の電子黒板の整備等を行った。

区分	金額	説明
委託料	3,736千円	機器設定業務委託料
備品購入費	31,248千円	電子黒板129台

(2) その他コンピュータ機器の整備

区分	金額	説明
電子計算機器賃借料	62,136千円	パソコン、プリンタ等

(3) I C T支援員の配置

市内全小学校に、I C T支援員の配置を行った。

区分	金額	説明
委託料	16,047千円	全521回

(4) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
教員用学習用端末の購入	4,185	0	4,185	4,185

4 教材整備経費

（単位：千円）

区分	金額	説明
教育振興経費	19,008	
備品購入費	19,008	
図書購入費	11,511	図書室用図書（児童・職員用）
教材等購入費	7,497	
教材等	6,681	楽器、糸鋸機械、跳び箱等
理科教育教材	816	理科設備
教材整備経費	1,277	
備品購入費	1,277	生物顕微鏡、ミシン、楽器等
合計	20,285	

中 学 校 費

6 2 7 , 9 4 5 , 9 5 7 円

○ 中 学 校 総 務 費 (3 5 9 , 2 8 9 , 9 4 6 円)

[教育総務課]

1 各 学 校 管 理 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により年度内に完成しなかった卒業アルバムの経費として各学校に配当している学校管理経費印刷製本費のうち一部経費を翌年度繰越とした。

(1) 翌年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

学 校 名	予 算 額	3 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
第 一 中	12	0	12	12
西 中	11	0	11	11
合 計	23	0	23	23

(2) 前年度繰越事業 (事故繰越)

(単位：千円)

学 校 名	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	計
第 一 中	14	0	14	14
西 中	10	0	10	10
第 六 中	23	0	23	23
吹 上 中	18	0	18	18
新 町 中	6	0	6	6
泉 中	9	0	9	9
合 計	80	0	80	80

2 教 育 振 興 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業が完了しなかった学校について、翌年度繰越とした。

(1) 翌年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

事 業 名 称	予 算 額	3 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
卒 業 ア ル バ ム 等 保 護 者 負 担 助 成 金	4,112	1,968	2,004	3,972

(2) 前年度繰越事業 (繰越明許費)

(単位：千円)

事 業 名 称	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	計
卒 業 ア ル バ ム 等 保 護 者 負 担 助 成 金	4,068	1,201	2,764	3,965

3 学校施設整備経費

(1) 委託業務

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
第一中学校ほか3校 特別教室等空調機整備 設計委託	第一中、第二中、第七中、新 町中の特別教室、管理諸室 等の空調機整備に伴う実施 設計	7,480	サンコー コンサルタント(株) 多摩営業所	6.18 ～11.12
友田小学校ほか3校 トイレ改修設計委託	友田小、藤橋小、西中、泉中 の校舎の既存トイレの改修 に伴う実施設計(中学校分)	6,215	(株)S・Kアート デザインオフィス	6.11 ～1.28
友田小学校ほか7校 アスベスト含有調査委託	友田小、藤橋小、第一中、第 二中、西中、第七中、新町 中、泉中のアスベスト含有 が疑われる建材のアスベ スト含有分析調査(中学校分)	1,720	ユーロフィン日本 総研(株) 東京事業所	11.2 ～2.14
合計	3件	15,415		

(2) その他中学校施設整備工事

(単位：千円)

学校名	工事内容	契約金額
第一中	ろ過ポンプ取替工事ほか2件	2,514
第二中	プールサイド床改修工事ほか1件	1,708
第三中	校庭防球ネット補修工事	330
西中	校庭スピーカー改修工事ほか3件	2,245
第六中	廊下天井扇風機取付工事	186
霞台中	特別教室棟外階段等外壁改修工事ほか1件	1,804
吹上中	特別教室棟3階男子トイレ排水管漏水改修工事ほか2件	2,000
新町中	屋内消火栓改修工事	1,297
泉中	職員室コンセント改修工事ほか1件	1,598
その他	体育施設補修等工事ほか6件	5,434
合計	26件	19,116

(3) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

ア 委託業務

(単位：千円)

委託名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
泉中学校 校舎外壁等 改修工事 監理委託	2,273	0	2,273	2,273

イ 整備工事

(単位：千円)

工事名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
西中学校 トイレ改修工事	93,993	0	93,993	93,993
泉中学校 トイレ改修工事	76,601	0	76,601	76,601

工 事 名 称	予 算 額	3 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
第一中学校 特別教室等 空調機整備工事	87,096	0	87,096	87,096
第二中学校 特別教室等 空調機整備等工事	173,984	0	173,984	173,984
第七中学校 特別教室等 空調機整備工事	92,943	0	92,943	92,943
新町中学校 特別教室等 空調機整備工事	96,984	0	96,984	96,984
泉中学校 校舎外壁および 屋上防水 改修等工事	192,996	0	192,996	192,996
合 計	814,597	0	814,597	814,597

(4) 前年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

工 事 名 称	工 事 内 容	金 額	2 年 度 支 払 額	3 年 度 支 払 額	受 注 者	契 約 工 期
新町中学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの床、 壁、天井、トイレブ ース、給排水衛生設 備等の改修工事	75,195	0	75,195	岩浪建設 (株)	6.15 ～12.15
新町中学校 トイレ改修に伴う 屋上防水改修工事	トイレ改修に伴う 屋上防水改修工事	1,298	0	1,298	(株)原美装	6.22 ～9.15
合 計	2 件	76,493	0	76,493		

4 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業経費

感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童・生徒の学びの保障をする体制の整備を図った。

(1) 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業 (単位：千円)

学 校 名	金 額	主な整備品等
第 一 中	100	非接触式検知器等
第 二 中	150	アルコール除菌剤等
第 三 中	200	コピー用紙等
西 中	99	トナーカートリッジ等
第 六 中	99	WEBカメラ等
第 七 中	100	除菌用アルコールタオル等
霞 台 中	148	空気清浄機等
吹 上 中	100	液晶テレビ等
新 町 中	149	タブレットPCケース等
泉 中	150	消毒用アルコール等
東 中	97	雑巾スタンド等
合 計	1,392	

(2) 前年度繰越事業（繰越明許費） (単位：千円)

学 校 名	金 額	2年度 支払額	3年度 支払額	主な整備品等
第 一 中	799	0	799	空気清浄機、液晶テレビ等
第 二 中	1,200	0	1,200	空気清浄機、非接触式検知器等
第 三 中	1,600	0	1,600	WEBカメラ、飛沫防止パーテーション等
西 中	800	0	800	自宅学習用デジタル教材、電子体温計等
第 六 中	800	0	800	指導書、非接触式検知器等
第 七 中	800	0	800	空気清浄機、除菌用アルコールタオル等
霞 台 中	1,191	0	1,191	空気清浄機、トナーカートリッジ等
吹 上 中	799	0	799	ペダル式ボトルスタンド、マイク付イヤホン等
新 町 中	1,199	0	1,199	電子黒板、タッチペン等
泉 中	1,192	0	1,192	自宅学習用デジタル教材、液晶テレビ等
東 中	798	0	798	空気清浄機、非接触式検知器等
合 計	11,178	0	11,178	

5 新型コロナウイルス対策学校における感染症対策等支援事業経費

児童・生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校の感染症対策等を講じる取組および児童・生徒の学びの保障をするための取組を促進する。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

事業名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルス対策学校における感染症対策等支援事業	12,600	0	12,600	12,600

○ 中学校学務費（81,874,133円）

[学務課]

1 保健衛生経費

(1) 各種検診実施状況

（単位：人）

検診名	対象	受診者	受診結果	等
結核検診	全学年	2,970	精密検査受診者 1	要医療・観察 0
心臓病検診	1学年	1,048	二次受診者 15	心電図異常 16 要医療・観察 12
耳鼻咽喉科検診	全学年	2,996		要医療・観察 1,614
眼科検診	全学年	2,992		要医療・観察 564
腎臓病等検診 （尿検査）	全学年	3,007	二次受診者 99	三次受診者 腎臓病 10 糖尿病 2
歯科検診	全学年	2,948		永久歯のう歯経験者 930
脊柱・胸郭および 四肢の検査	全学年	2,991		脊柱・胸郭・四肢異常 77
	1学年 （モアレ検査）	981	二次受診者 12	要医療・観察 110

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度加入状況

（単位：円、人、千円）

対象	種別	掛金単価	加入者数	金額
全学年	一般・準要保護生徒	935	3,044	2,846
	要保護生徒	55	81	4
	追加加入者	935	5	5
	合計		3,130	2,855

2 就学困難生徒就学奨励経費

（単位：人、千円）

区分	人員	金額	区分	人員	金額
学用品費	433	10,166	修学旅行支度金	62	385
特別扶助費	141	8,402	林間・移動教室費	87	3,604
給食費	415	21,313	医療費	0	0
校外活動費	188	413	通学費	18	672
修学旅行費	130	4,278	合計		49,233

（歳出 10 教育費）

特別支援学級（知的障害、情緒障害）経費

1 生徒宿泊学習

宿泊を通して、生活習慣の確立を図るとともに、家庭から離れて集団生活を体験することにより、社会に適応し自立するための能力を高めることを目的として実施した。

(単位：人、千円)

学校名	種別	参加生徒数	宿 泊 地	金 額
第二中	知的	26	静岡県賀茂郡松崎町 10.20~10.22	682
泉中	情緒	28	東京都八王子市 12.1~12.3	333
合計		54		1,015

霞台中（知的）、吹上中（情緒）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

2 特別支援教室の利用状況

(令和3年5月1日現在、単位：人)

学校名	区分	1年	2年	3年	合計
第一中	拠点校	6	4	4	14
第二中	巡回校	6	2	2	10
西中	巡回校	6	14	1	21
第七中	巡回校	2	0	0	2
第三中	拠点校	0	3	5	8
第六中	巡回校	1	1	0	2
霞台中	巡回校	7	5	1	13
吹上中	巡回校	4	6	2	12
新町中	巡回校	2	3	4	9
泉中	巡回校	9	4	0	13
合計		43	42	19	104

1 各種行事实施等経費

(1) 各種行事委託

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
音 楽 鑑 賞 教 室	0	7月8日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、それに伴うキャンセル料の支払いを行った。(367,752円)
修 学 旅 行	398	京都・奈良方面等
生 徒 体 育 行 事	0	11月10日に中学校駅伝大会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
諸 行 事 生 徒 派 遣	6,715	中学校体育連盟・中学校吹奏楽連盟主催の全国大会、都大会、第8ブロック大会等
合 計	7,113	

(2) 修学旅行取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした修学旅行の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

区 分	該 当 校 数	人 員	金 額
修 学 旅 行	8 校	656 人	3,207 千円

2 移動教室実施経費

(1) 移動教室生徒保護者助成

中学校の移動教室等の実施に際し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

区 分	実 施 校 数	人 員	助 成 単 価	金 額
移 動 教 室	6 校	962 人	2,600 円	2,501 千円
代 替 旅 行	1 校	80 人	2,600 円	208 千円
合 計	7 校	1,042 人		2,709 千円

(2) 移動教室取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした移動教室の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

区 分	該 当 校 数	人 員	金 額
移 動 教 室	4 校	368 人	650 千円

3 教育情報システム経費

(1) G I G Aスクール構想の推進

東中学校を除く市内全中学校に、通常学級数分の電子黒板の整備等を行った。

区 分	金 額	説 明
委 託 料	2,578千円	機器設定業務委託料
備 品 購 入 費	21,795千円	電子黒板89台

(2) その他コンピュータ機器の整備

区 分	金 額	説 明
電 子 計 算 機 器 賃 借 料	37,846千円	パソコン、プリンタ等

(3) I C T支援員の配置

市内全中学校に、I C T支援員の配置を行った。

区 分	金 額	説 明
委 託 料	13,457千円	全432回

(4) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

名 称	予 算 額	3年度支払額	翌年度繰越額	計
教員用学習用端末の購入	4,905	0	4,905	4,905

4 教材整備経費

（単位：千円）

区 分	金 額	説 明
教育振興経費	16,224	
備品購入費	16,224	
図書購入費	9,805	図書室用図書（生徒・職員用）
教材等購入費	6,419	
教材等	5,888	楽器、サッカーゴールネット、ミシン等
理科教育教材	531	理科設備
教材整備経費	1,242	
備品購入費	1,242	体操マット、双眼実体顕微鏡、楽器等
合 計	17,466	

教 職 員

教職員異動状況

1 校長

(1) 内転

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	吹 上 小	実 森 浩 明	第 七 小	

(2) 転入

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	第 五 小	刀 禰 浩 子	東村山市立東萩山小	昇 任
〃	第 七 小	森 田 哲 生	福生市立福生第七小	昇 任
〃	今 井 小	神 尾 健 彦	三鷹市立東台小	昇 任

(3) 転出

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	西東京市立碧山小	中 嶋 太	第 五 小	
〃	奥多摩町立奥多摩中	西 村 元 一	第 一 中	昇 任
〃	檜原村立檜原中	糸 井 一 雄	泉 中	昇 任

(4) 退職

発令年月日	所 属 校	氏 名	備 考
4. 3. 31	第 六 小	中 野 和 人	定 年 退 職
〃	新 町 小	仁 藤 茂 則	再 任 用 退 職
〃	第 一 中	儘 田 文 雄	再 任 用 退 職
〃	泉 中	山 本 巖	定年退職・令和4年度再任用

2 副校長

(1) 内転

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	河 辺 小	松 井 優 子	第 二 小	昇 任
〃	第 一 中	神 田 哲 男	第 三 中	
〃	第 三 中	塚 原 忍	吹 上 中	
〃	吹 上 中	濱 岡 明 男	霞 台 小	
〃	泉 中	山 本 美智代	第 二 中	昇 任

(2) 転入

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	霞 台 小	木 下 一 朗	日野市立滝合小	昇 任
〃	新 町 中	佐 藤 信 雄	昭島市立昭和中	

(3) 転出

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
3. 4. 1	武蔵野市立本宿小	榊 原 奈 美	河 辺 小	
〃	瑞穂町立瑞穂第二中	町 井 豊	吹 上 中	昇 任
〃	府中市立府中第五中	一 色 真 史	新 町 中	再任用
〃	八王子市立元八王子中	池 田 隆 平	東 中	昇 任

(4) 退職

発令年月日	所 属 校	氏 名	備 考
4. 3. 31	第 七 中	友 部 薫	定 年 退 職

3 4 級職 (主幹・指導教諭)

(単位：人)

	自校昇任	内転昇任	内 転	転 入	転 出	退 職	備 考
小 学 校	0	1	1	1	2	2	
中 学 校	4	0	0	0	1	2	

※ 退職は、令和4年3月31日付発令

4 主任教諭

(単位：人)

	自校昇任	内転昇任	内 転	転 入	転 出	退 職	備 考
小 学 校	5	0	5	10	9	5	
中 学 校	2	0	0	13	8	3	

※ 退職は、令和4年3月31日付発令

5 教諭、事務職員および栄養士

(単位：人)

		内 転	転 入	転 出	新 採	退 職	備 考
教 諭	小学校	0	21	27	18	3	
	中学校	2	17	16	16	3	
事 務 員	小学校	1	2	1	2	0	
	中学校	1	1	0	0	0	
栄 養 士		0	0	0	0	0	
合 計		4	41	44	36	6	

※ 新採は令和3年4月1日付発令、退職は令和3年7月6日付、令和3年8月31日付、令和4年3月31日付発令

社会教育費

762,400,275円

○ 社会教育費 (92,455,565円) [社会教育課]

1 社会教育委員経費

(1) 社会教育委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
藤原輝正	学校教育	4.19退任	山川貴弘	社会教育	
刀禰浩子		4.20就任	○金子万里子	家庭教育	
神山敬章			横手多喜子		
市川幸次	社会教育		◎宮野良一	学識経験者	
栗原郁夫			園田陽子		
吉野康一					

任期：令和2年5月14日～令和4年5月13日 ◎は議長、○は副議長

(2) 社会教育委員会議開催回数 8回

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会

ア 拡大役員会 3回 理事会 2回

イ ブロック研修会

期日	ブロック	内容	テーマ	会場	参加者
11.6	第1ブロック	ワークショップ	人口減少地域を支える社会教育	文化交流センター	9人

ウ 交流大会

期日	内容	テーマ	会場	参加者
12.11	各ブロック研修会実施報告等	明日に向け 学びの輪を広げよう！！ ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～	府中市 府中市市民活動センタープラッツ 「バルトホール」	4人

エ 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会 6回

(4) 関東甲信越静社会教育研究大会

期日	内容	スローガン	会場	参加者
11.11	講演会・トークセッション等	明日に向け 学びの輪を広げよう！！ ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～	府中市 府中の森芸術劇場	6人

(歳出 10 教育費)

2 青少年委員経費

(1) 青少年委員

氏名	選出学校区	備考	氏名	選出学校区	備考
◎ 内田紀弘	第一小		阿多洋和	新町小	
○ 広瀬善規	第二小		高野一樹	霞台小	4.30退任
○ 増田透	第三小		唐津直樹		5.1就任
豊田奨	第四小		中山誠一	今井小	
菅尚美	第五小	4.30退任	奈良野佳世子	友田小	4.30退任
梅本亘		5.1就任	石川富士男		5.1就任
渡辺淳一	第六小		古賀勝	若草小	
小野寺洋智	第七小		佐藤直美	藤橋小	4.30退任
白井敬子	成木小		山口佳子		5.1就任
岡部真紀	河辺小		樋口篤史	吹上小	

任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 青少年委員協議会開催回数 12回

(3) 研修会

ア 委員研修

期日	内容	会場	参加者
3.5	管内研修	東青梅市民センター	13人

イ 第3ブロック研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 自主事業

期日	事業名	会場	参加者
11.21	集まれおうめっ子! 木こりの巻	成木の森	14人

3 生涯学習推進経費

(1) 青梅市生涯学習推進本部会議開催回数 2回

(2) 生涯学習推進市民会議

ア 生涯学習推進市民会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
藤野唯基	学識経験者		相澤麻由美	団体代表者	
関谷望		3.31退任	和山満雄		5.7退任
森田哲生		4.1就任	國生隆利		5.8就任
菅勇真		3.31退任	宇津木繁		6.24退任
石田和仁		7.1就任	吉田わかな		6.25就任
秋山拓実		4.1就任	◎林義巳		
栗原郁夫			沖山恵子		
菅原敏郎	団体代表者		大野友江		
小椋勝宏			加藤知恵	11.30退任	
○増子ますみ			東直也	12.1就任	

任期：令和2年10月1日～令和4年9月30日 ◎は議長、○は副議長

イ 生涯学習推進市民会議開催回数 3回

(3) 生涯学習だよりの発行

生涯学習だよりを年4回、各1,200部発行し、市内外の学習事業や催し物の周知を図った。

(4) 生涯学習講師・指導者およびボランティア協力者等人材登録制度

登録者数

(単位：人、団体)

体系	文化系	体育系	合計
個人	25	5	30
団体	1	0	1

(5) 生涯学習サークル登録団体状況

(単位：団体)

文化系	体育系	合計
78	25	103

(歳出 10 教育費)

(6) 青梅市生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習の一助として、市職員や関係機関職員が講師となり市民のところに向向いて市の施策や情報および技術的知識等を生かした55メニューの講座のうち14講座を実施した。

日 程	内 容	担 当 課	延受講者
7.12 ～3.6	「青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～」 以下14講座	防災課以下8課	817人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5講座が中止となった。

(7) 行事傷害補償制度

社会教育課が主催する各種行事中の事故等による傷害を補償するため、前年度に引き続き公民館総合補償制度の行事傷害補償制度に加入した。

保険適用件数 0件

(8) 補助金

公共ホール等使用料助成金交付実績

交付件数 1件 交付金額 70千円

4 成人式開催経費

(1) 成人式

(単位：人)

期 日	対 象 者			会 場
	総 数	出席者数	生 年 月 日	
1.10	1,280	991	平成13年4月2日～平成14年4月1日	総合体育館

(2) 令和3年成人を祝う会

(単位：人)

期 日	対 象 者			会 場
	総 数	出席者数	生 年 月 日	
1.9	1,400	177	平成12年4月2日～平成13年4月1日	総合体育館

※ 令和3年成人式が新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、改めてお祝いの会を開催し、明治大学教授齋藤孝氏による講演等を行った。

5 生涯学習事業経費

生涯学習事業の開催にあたっては、一部を公益財団法人青梅佐藤財団と連携し、共催で実施した。

(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実 (単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
7.18	家庭教育講演会 子育て応援☆お家でリフレッシュ♪ 大人も子どもも楽しく身体を動かそう！	原 愉 美 子 ほか	受講者自宅 (オンライン講演会)	9組
11.27	家庭教育講演会 コロナ禍における子育て・子どもの発達への影響について	遠 藤 利 彦	受講者自宅 (オンライン講演会)	21
2.6	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 むかし食育体験～味噌づくり教室～	青梅食育クラブ	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止
3.19	家庭教育講演会 叱らなくても子どもは伸びる～目から 鱗の子育てと家庭教育～	親 野 智 可 等	受講者自宅 (オンライン講演会)	39

(2) 豊かに生きるための学習機会の充実 (単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
4.14 10.13 11.10 12.8	(公財)青梅佐藤財団共催事業 渡邊學而の名曲へのお誘い	渡 邊 學 而	文 化 交 流 セ ン タ ー	244
8.19	(公財)青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ2021 いきものの色をしらべてみよう！(生物 と化学)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	18
8.20	(公財)青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ2021 浮力で遊んでみよう！(物理)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	18
9.23	(公財)青梅佐藤財団共催事業 第15回増田明美親子ふれあいスポーツ教室	増 田 明 美	第 四 小 学 校	86
9.26	(公財)青梅佐藤財団共催事業 柴田晶子口笛コンサート	柴 田 晶 子	文 化 交 流 セ ン タ ー	70
10.6	(公財)青梅佐藤財団共催事業 市民コンサート メランデ・ピアノ三重奏団ゆとろぎコン サート	メランデ・ピア ノ三重奏団	羽 村 市 生 涯 学 習 セ ン タ ー ゆとろぎ	341
10.16	(公財)青梅佐藤財団共催事業 国際理解講座公開講座 「最新恐竜学～めざせ！きょうりゅうは かせ～真鍋真先生講演会」	真 鍋 真	文 化 交 流 セ ン タ ー	119
10.30 (全2回)	リモート子ども陶芸教室 from 明星 大学「粘土にスタンプ！凸凹模様 のお皿をつくろう」	塩 野 麻 理 春 長 島 小 春	受 講 者 自 宅 (オンライン講座)	6

(歳出 10 教育費)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
11.6	(公財)青梅佐藤財団共催事業 第13回国立音楽大学ブラソオルケスター 演奏会	国立音楽大学ブ ラスオルケスタ ー	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	403
11.13	青梅探訪 うんちく講座+散歩	大倉 十彌也 村野 公一	文化交 流 センタ ー	27
1.8	(公財)青梅佐藤財団共催事業 高橋多佳子ピアノリサイタル	高橋多佳子	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	335
2.19	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 線香花火を作ってみよう!	青 沼 巖	文化交 流 センタ ー	14
2.23	(公財)青梅佐藤財団共催事業 科学っておもしろい!善ちゃんのサイエ ンスショー	北 沢 善 一	文化交 流 センタ ー	124
2.26	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 銅線でキーホルダーを作ってみよう!	持 田 史 人	文化交 流 センタ ー	6
2.27	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 ミラーボックスを作ってみよう!	吉 永 志 伸	新 町 市 民 センタ ー	10
3.5	市民映画会『二宮金次郎』	—	文化交 流 センタ ー	84
3.5	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 バラのキャンドルを作ってみよう!	榎 交 子	文化交 流 センタ ー	13
3.21	東京都、東京都歴史文化財団、子ども芸能 体験ひろば実行委員会共催事業 子ども芸能体験ひろば	春 風 亭 柳 橋 (落 語) 吉 田 信 海 (狂 言) KYOKO (和妻) 清 元 香 葉 (三 味 線) 藤 間 涼 太 朗 (日 本 舞 踊)	文化交 流 センタ ー	241
3.26	市民映画会『インサイド・ヘッド』	—	文化交 流 センタ ー	36

(3) とともに生きるための学習機会の充実

(単位:人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
12.1~	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 英語で楽しむルイジアナ料理	ミシエル・ ウイテカー	動画配信	—
3.5	女性向けパワーアップ講座 ~育児休業復帰に向けて自分を見つ め直してみませんか~(市民活動推進 課共催)	山 口 理 栄	受講者自宅 (オンライン講座)	10

(4) 健やかに生きるための学習機会の充実

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
9.4~10.9 (全5回)	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 作業療法学生による認知症予防講座	鎌 田 小百合 多摩リハビリテ ーション学院学生	市 役 所 福祉センター	45

(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
4.25～11.14 (全9回)	令和3年度農業・食育体験教室	青梅食育クラブ ほか	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	182

※ 第1回～第3回、第6回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 推進体制づくり

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	参加者数
5.8～ 5.9	生涯学習フェスティバル ～釜の淵新緑祭2021～	37 事 業	釜 の 淵 公園内ほか	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止

(7) おうめ子ども俳句コンテスト

期 日	行 事 名	会 場	投 句 数	入 選 数
12.4	第18回おうめ子ども俳句コンテスト表彰式	市 役 所	3,092句	29句

(8) 学校施設（音楽室）開放

市民の生涯学習の振興を図るため、市内小・中学校の音楽室を開放したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者はいなかった。

(単位：団体、回、人)

開 放 施 設	利用登録団体数	延 利 用 回 数	延 利 用 者 数
今 井 小 学 校	1	0	0
第 二 中 学 校	1	0	0

(9) 視聴覚ライブラリー操作講習会

ア 16ミリ発声映写機操作講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

イ ビデオプロジェクター操作講習会

期 日	修 了 証 交 付 数	会 場	講 師
2.4	10	市 役 所	社 会 教 育 課 職 員

6 児童合唱団等育成経費

(1) 市民合唱団

新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期演奏会は中止

(2) 青少年吹奏楽団

期 日	行 事 名	会 場	入 場 者 数
12.5	第 5 2 回 定 期 演 奏 会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	132人

(歳出 10 教 育 費)

(3) 児童合唱団

期 日	行 事 名	会 場	入場者数
9.20	第 43 回 定 期 演 奏 会	福 生 市 民 会 館	95人

7 青少年リーダー育成経費

青少年リーダー育成研修会

期 間	会 場	延 参 加 者 数	指 導 者 等
6.27～8.22 (全5回)	市 役 所 沢 井 市 民 セ ン タ ー ほ か	134人	小 学 校 教 諭 青 少 年 委 員 ほ か

8 国際理解講座開催経費

(1) 小学生講座 ((公財)青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
6.26～ 3.12 (全20回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	小学4年生 22人 小学5年生 21人 小学6年生 18人 計 61人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

※ 1回(開講式)は書面開催。16～19回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 中学・高校生講座 ((公財)青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
6.26～ 3.12 (全20回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	中学1年生 14人 中学2年生 12人 中学3年生 2人 高校1年生 1人 計 29人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

※ 1回(開講式)は書面開催。16～19回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 外国人日本語講座 ((公財)青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
5.19～11.24 (全18回)	正しい日本語の学習 音声・文字・助詞	東 青 梅 セ ン タ ー ビ ル	13人	砂 岡 三 知 子 三 木 薫

9 子ども体験塾事業経費

子ども体験塾 わくわく☆ラボ～いろんな先端テクノロジーが大集結！～

羽村市、瑞穂町と合同で実施した。

(単位：人)

期 日	事 業 名	会 場	延参加者
8.4、8.5 8.6 (全12回)	ワークショップ「レーザーカッター でつくって遊ぼう！」	文化交流センター 瑞穂ビューパーク・スカイホール 羽村市生涯学習センターゆとろぎ	130
8.9	公演「魔法とアートのサーカス団」	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	321

10 放課後子ども教室推進事業経費

(1) 放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
風間みどり	学識経験者		○ 星野綾子	実施コーディネーター	
中嶋太	学校関係者	7.9退任	空野優子	学童クラブ関係者	7.9退任
鎌田博志		7.10就任	藤森光一		7.10就任
金子万里子	社会教育関係者		森田義則		7.9退任
高野一樹		7.9退任	本間朝陽		7.10就任
◎ 樋口篤史	児童福祉関係者	7.10就任	和田宏	行政関係者	10.12退任
桑田早苗		7.9退任	遠藤康弘		10.13就任
青柳公美	地域住民関係者	7.10就任	榎戸智		
水野剛史		7.9退任	加藤博之		
加藤博行	PTA関係者	7.10就任	/		
桑田淳一		7.9退任			
木水健		7.10就任			

任期：令和3年7月10日～令和5年7月9日 ◎は委員長、○は副委員長

(2) 放課後子ども教室推進事業運営委員会開催回数 3回

(3) おうめ放課後子ども教室「夕やけランド」活動実績 (単位：人)

実施校	期日	活動内容	活動場所	延参加者数
第一小	4.14～1.12 (全16回)	自主学習、工作、折り紙、 しっぽ取り、バドミントン ほか	体育館、校庭	571
第二小	4.19～1.12 (全24回)	自主学習、工作、ぬり絵、 ドッジボール、バドミントン ほか	体育館、校庭、 体育館2階	373
第三小	4.14～1.19 (全10回)	自主学習、サッカー、 フラフープ、バドミントン ほか	体育館、校庭	409
第四小	4.21～1.19 (全30回)	自主学習、工作、読み聞かせ、 サッカー、フラフープ ほか	校庭、ランチルーム、 視聴覚室	1,100
第五小	4.7～2.7 (全78回)	自主学習、工作、読書、 縄跳び、サッカー ほか	体育館、校庭、中庭、 合科室	3,270
第六小	4.14～1.26 (全14回)	自主学習、工作、折り紙、 バドミントン、跳び箱 ほか	体育館、校庭、 ミーティングルーム	169
第七小	4.14～1.24 (全47回)	自主学習、工作、折り紙、 紙芝居、ボール遊び ほか	体育館、校庭、教室	927
成木小	4.14～1.19 (全17回)	自主学習、工作、折り紙、 トランプ、バドミントン ほか	体育館、校庭、図書室	173
河辺小	4.14～1.19 (全13回)	自主学習、工作、 バスケットボール、縄跳び ほか	体育館、校庭	248
新町小	6.23～12.15 (全10回)	自主学習、読書、折り紙、 縄跳び、バドミントン ほか	体育館、校庭	319
霞台小	4.14～1.19 (全17回)	自主学習、工作、囲碁、将棋、 トランプ、バドミントン ほか	体育館、校庭、教室	391

(歳出 10 教育費)

実施校	期 日	活 動 内 容	活 動 場 所	延参加者数
友田小	6.2～3.2 (全21回)	自主学习、折り紙、迷路、 卓球、バスケットボール ほか	体育館、校庭	369
今井小	4.14～1.19 (全19回)	自主学习、工作、パズル、 バドミントン、ドッジボール ほか	体育館、校庭	855
若草小	4.21～12.15 (全10回)	自主学习、工作、折り紙、 卓球、バドミントン ほか	体育館	165
藤橋小	4.14～2.16 (全20回)	自主学习、工作、折り紙、 バドミントン、ドッジボール ほか	体育館、校庭	673
吹上小	4.12～2.2 (全24回)	自主学习、工作、オセロ、 サッカー、バドミントン ほか	体育館、校庭	408

11 御岳山ふれあいセンター管理経費

(1) 御岳山ふれあいセンター利用状況

(単位：回、人)

区 分	研 修 室	ス ポ ー ツ ホ ー ル	合 計
延べ利用回数	2	48	50
延べ利用人員	25	716	741

(2) 御岳山ふれあいセンタートイレ自動水栓化修繕

(単位：千円)

修 繕 名 称	修 繕 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 期 間
御岳山ふれあいセンター トイレ自動水栓化修繕	御岳山ふれあいセンター トイレの自動水栓化	200	渡辺設備工業所	9.10～ 3.31

○ 文 化 事 業 費 (1, 7 8 8, 6 3 0 円)

[社会教育課]

1 芸術文化奨励関係経費

芸術文化奨励賞受賞者

区 分	氏 名	該 当 事 項
書 道	出 口 結 子	第44回全国学生書写書道展公募中学生の部「文部科学大臣賞」受賞
ダ ン ス	市立第三小学校 ストリートダンス部 Challenge7	全国ダンスパフォーマンスコンテスト2020全国決勝大会 小学生オープン部門レギュラー編成第3位
音 楽	市立第三中学校 吹 奏 楽 部	第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 A 部門に出場
音 楽	市立第六中学校 吹 奏 楽 部	第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 S 部門に出場
音 楽	市立吹上中学校 吹 奏 楽 部	第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 S 部門に出場
音 楽	市立泉中学校 吹 奏 楽 部	第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 A 部門に出場

2 芸術文化祭開催等経費

(1) 期間 10月9日～11月28日 参加団体 20団体 参加者数 4,702人（観覧者含む）

(2) 開催状況

団 体 名	催 し 物	期 日	会 場
青 梅 市 二 胡 連 盟	二 胡 演 奏 会	11.3	文化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 市 合 唱 連 盟	合 唱 祭	中 止	福 生 市 民 会 館
青 梅 吟 詠 連 盟	吟 詠 の 集 い	10.17	文化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 民 謡 愛 好 連 盟	民 謡 大 会	10.23	〃
青 梅 三 曲 連 盟	三 曲 演 奏 会	10.31	〃
青 梅 奇 術 連 盟	マ ジ ッ ク フ ェ ス テ ィ バ ル	11.20	〃
青 梅 市 民 舞 踊 連 盟	民 舞 踊 大 会	11.21	〃
青 梅 子 ども 音 楽 連 盟	み ん な の 音 楽 会	11.14	〃
青 梅 市 日 本 舞 踊 連 盟	日 本 舞 踊 公 演	11.28	〃
青 梅 フ ラ ダ ン ス 連 盟	H U L A	11.23	福 生 市 民 会 館
青 梅 茶 道 連 盟	秋 の 茶 会	中 止	文化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 市 華 道 連 盟	華 道 展	10.14～10.17	〃
青 梅 短 歌 会	短 歌 大 会	10.16	〃
	短 歌 展	11.3～11.7	〃
青 梅 市 囲 碁 連 盟	囲 碁 大 会	11.7	〃
青 梅 市 書 道 連 盟	書 道 展	10.27～10.31	〃
青 梅 秋 香 会	菊 花 展	11.1～11.7	梅 郷 バ ス 停 前 市 有 地
		11.2～11.7	文化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 市 俳 句 連 盟	俳 句 大 会	11.3	〃
	俳 句 展	11.3～11.7	〃
日 本 盆 栽 協 会 青 梅 支 部	盆 栽 展	10.29～10.31	〃
青 梅 将 棋 連 盟	将 棋 大 会	10.17	〃
青 梅 美 術 協 会	美 術 展	11.9～11.14	〃

※ 10月9日文化交流センターにて、文化団体連盟主催によるオープニングショーを開催した。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青梅市教育委員会主催による文化祭は中止とし、文化団体連盟の自主開催とした。

1 郷土博物館管理経費

(1) 郷土資料の収集および整理

収 集	電 算 入 力
10,153点 (民具類633点、文書等9,520点)	448点

(2) 収蔵資料の貸出し

資 料 名	貸 出 し 先	期 間	理 由
寺改戸遺跡土壌出土品等 20点	江戸東京博物館	9.13～12.24	展示のため
青梅縞 1点	飯能市立博物館	9.28～12.14	展示のため
青梅鉄道資料(画像データ)2点	武蔵村山市立歴史民俗資料館	10.23～1.16	展示のため
木鼻 2点	裏宿町自治会	11.19～11.28	展示のため

(3) 第34回多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地区の市や町が参加し、郷土誌関係の出版物を展示し、多くの人々に紹介、希望者に頒布することを目的とした同フェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

2 郷土博物館事業経費

(1) 展示事業

展 示 名	期 間	内 容
常設展「郷土のあゆみ展」	通 年	収蔵資料の中から青梅市域の自然や歴史、産業に関する資料を展示
収蔵品展「郷土工芸技術展～道具を通して見つめるものづくり～」	4.1～4.4	『青梅市郷土工芸技術調査報告書』の刊行にあわせ、青梅傘や青梅夜具地、青梅せんべいなど市内で使用された職人道具を展示
新収蔵品展2021	4.17～6.20	令和元年度・令和2年度に収蔵した資料を展示
市制施行70周年記念展「ゆめうめちゃんと行く時間旅行～青梅市誕生のひみつ～」	7.3～9.5	市制施行前の各町村の様子や、昭和26年の市制施行時、昭和30年の四か村合併時の関連資料を展示
企画展「青梅の金融史～あおしん創立100周年～」	9.18～12.19	青梅市域を中心とした金融史をテーマに、明治期から昭和期にかけての金融機関の関連資料を展示
(市役所展示)市制施行70周年記念展「ゆめうめちゃんと行く時間旅行～青梅市誕生のひみつ～」	10.8～10.29	市制施行70周年記念展で使用した市制施行祝賀会などの写真パネルを市役所本庁舎1階ロビーにて展示
企画展「青梅宿の文人・根岸典則～文芸サロンに集う人々～」	1.8～3.31	江戸時代後期に活躍した青梅宿の文人・根岸典則の出生から没後までの各テーマに沿って、典則の作品や他の文人たちの関連資料を展示
パネル展示「赤糸威鎧と畠山重忠ゆかりの地」	3.23～3.31	赤糸威鎧や市内にある畠山重忠ゆかりの場所について、写真パネルを展示

(2) 普及事業

ア 博物館関連講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き実施を取り止めた。

イ 図録の発行

(単位：部、円)

書名	内 容	部 数	頒 布 価 格
企画展「青梅宿の文人・根岸典則 ～文芸サロンに集う人々～」図録	A4判 33頁	300	600

ウ 学芸員および文化財解説ボランティア等による展示解説

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き実施を取り止めた。

エ 学芸員実習生の受入れ

期 間	目 的	実 習 内 容	指 導	実習生
8.3～8.14	学芸員資格 取得のため	民具・古文書類の整理と収蔵 方法、考古資料の整理、展示 作業、資料の調査方法など	博物館学芸員等職員	3人

(3) 博物館入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備 考
4	1,074	22	10	1,148	27	個 人 9,314人 団 体 1,072人
5	0	0	11	1,550	25	
6	999	26	12	712	24	月平均 866人 1日平均 37人
7	706	27	1	683	24	
8	714	26	2	722	24	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4.27～5.31は臨時休館
9	798	26	3	1,280	27	
合 計				10,386	278	

3 文化財管理経費

(1) 指定文化財の管理公開

(単位：㎡、人)

指 定 区 分	名 称	規 模	入 館 者 数
国指定重要文化財	旧宮崎家住宅	80.8	6,988
都指定有形文化財	旧吉野家住宅	1,780.0	1,223
都指定有形民俗文化財	旧稲葉家住宅	447.8	2,373
都指定史跡	勝沼城跡	134,227.0	
	青梅新町の大井戸	2,121.0	
市指定史跡	今井城跡	7,675.0	
	藤橋城跡	5,480.0	
	櫓台ほか	1,926.0	
	岩蔵住居跡	121.5	
	成木石灰所久保遺跡の一部	201.0	
合 計		154,060.1	10,584

※ 旧宮崎家住宅、旧吉野家住宅および旧稲葉家住宅は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月27日～5月31日は臨時休館とした。

旧吉野家住宅は、屋根葺き替え工事のため、2月1日～3月31日は臨時休館とした。

(2) 文化財の指定状況等

(単位：件)

国指定文化財	都指定文化財	市指定文化財	国登録文化財	合 計
18	46	135	17	216

(3) 指定文化財の修繕

文化財の名称	内 容	事 業 費	備 考
都指定有形民俗文化財 旧稲葉家住宅	土蔵の外壁および雨樋の 取付	176千円	都補助事業

4 文化財調査保護経費

(1) 青梅市文化財保護審議会

ア 青梅市文化財保護審議会委員

氏 名	備 考	氏 名	備 考
◎ 河 東 義 之		保 坂 一 房	
○ 稲 葉 政 満		棚 橋 正 道	
山 本 勉		久 保 田 正 寿	
馬 場 憲 一		神 庭 正 則	
沖 川 伸 夫		西 村 慎 太 郎	

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市文化財保護審議会開催回数 3回

(2) 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

ア 青梅市文化財保護指導員

氏名	備考	氏名	備考
角田清美	12.31退任	御手洗望	
三好ゆき江		荒井悦子	
◎ 神森正	12.31まで副会長 1.1から会長	塚田直樹	
○ 小島みどり	12.31まで会長 1.1から副会長	沖祐昭	
東山啓子		黒田耕	
儘田菜つ美	1.1就任		

任期：令和2年1月1日～令和3年12月31日、令和4年1月1日～令和5年12月31日

◎は連絡協議会会長、○は連絡協議会副会長

イ 青梅市文化財保護指導員連絡協議会開催回数 7回

ウ 視察・調査

開催日	主な内容	参加委員
4.17	春日神社を視察	9人
11.28	御岳山の文化財などを視察	10人
1.9	黒沢川下流の文化財などを視察	9人
3.27	旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事を視察	8人

エ 報告書等の刊行

名称	内容
「青梅市の文化遺産」	広報おうめに市内の文化遺産の紹介記事を掲載
指導員活動報告書第37号	多摩川の三萬年橋、青梅地方の仕事唄等を収録
文化財ニュース	文化財や自然等をテーマに月1回発行（第402号～第413号）

オ わがまち青梅講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き実施を取り止めた。

(3) 指定文化財の普及事業

(単位：人)

実施期間	内容	実施場所	延人数
2.19～3.21	雛人形のミニ展示	旧宮崎家住宅、旧稲葉家住宅 (旧吉野家住宅は、屋根葺き替え工事のため実施しなかった。)	1,353

※ 五月人形のミニ展示については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(4) 文化財講座

(単位：人)

実施日	講座名	内容	講師	延参加者数
3.19～3.21	旧吉野家住宅屋根葺き替え工事見学会	屋根葺き替え工事の様子を現地で見学した。	(有)田中木工ほか	83

(5) 東京文化財ウィーク2021

ア 東京文化財ウィーク2021

実施期間	内容	公開場所
10.30～11.7	東京都教育委員会と共催で実施する公開事業。市で管理する都指定文化財等を一般公開したほか、解説カードを配布。	郷土博物館・旧宮崎家住宅・旧吉野家住宅・旧稲葉家住宅・御岳の神代ケヤキ・鈴法寺跡・青梅新町の大井戸

イ 東京文化財ウィーク関連企画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き関連講座等の実施を取り止めた。

(6) 市指定無形民俗文化財（獅子舞7件）に対する保存伝承の奨励

名称	指定年月日	名称	指定年月日
鹿島玉川神社獅子舞	昭和42.11.3	野上春日神社獅子舞	昭和42.11.3
友田御嶽神社獅子舞	昭和42.11.3	上成木高水山獅子舞	昭和42.11.3
成木熊野神社獅子舞	昭和42.11.3	梅郷獅子舞	昭和44.11.3
天之社獅子舞	昭和45.11.3		

5 埋蔵文化財調査保護経費

市内181か所の周知の埋蔵文化財について、各種開発に先駆けた事前の記録保存のための発掘調査を実施した。

(1) 遺跡確認などの照会・届出等

(単位：件)

照会件数	届出件数	確認発掘調査	立会い調査	慎重工事
430	50	3	47	0

(2) 確認発掘調査

(単位：㎡)

遺跡名	所在地	調査面積	結果
K-5	師岡町1-132他	58.00	土坑、段切り状遺構
霞台	野上町2-295-13	5.60	遺構なし
安楽寺前	成木1-581-1	5.89	遺構なし
霞台	野上町2-274	190.00	住居跡、土坑、溝状遺構
合計		259.49	

6 指定文化財保存事業経費

指定文化財保存修理補助事業

(単位：千円)

文化財の名称	補助事業の内容	事業費	市補助金	備考
国宝 赤糸威鎧/ 重要文化財 紫裾濃鎧	保存箱の作製、紫裾濃鎧の修理、鎧掛け台や鞆台の作製、鎧の残欠類整理・収納	2,006	103	市補助金 5.12/100
重要文化財 木造千手観音立像等	防犯カメラの設置	2,233	168	市補助金 7.5/100
都指定有形文化財 福島家住宅	屋根裏通路の設置、天井板の張替え、床下板や正面大戸の修繕等	1,556	155	市補助金 1/10
都指定無形民俗文化財 青梅のフセギのワラジ	辻立ての作製および設置	236	23	市補助金 1/10
市指定有形民俗文化財 山車人形「武内宿禰」	衣装の修理	2,466	774	市補助金 1/3
市指定天然記念物 御嶽神社参道の杉並木	危険木の伐採	550	183	市補助金 1/3
合 計		9,047	1,406	

7 郷土博物館施設整備経費

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
郷土博物館高圧交流負荷開閉器(PAS)交換工事	老朽化に伴う高圧交流負荷開閉器(PAS)の交換工事	803	(株)萩原電機	8.27 ～11.30

8 旧吉野家住宅整備経費

(1) 債務負担行為にもとづく委託

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	3年度支払額	4年度支払予定額	受注者	契約工期
旧吉野家住宅 屋根葺き替え 設計委託	屋根葺き替え工事に伴う設計	968	968	—	(株)文化財工学研究所	6.18～9.30
旧吉野家住宅 屋根葺き替え 工事監理委託	屋根葺き替え工事に伴う監理	1,980	—	1,980	(株)文化財工学研究所	12.17 ～R4.10.31
合 計		2,948	968	1,980		

(2) 債務負担行為にもとづく工事費

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	3年度支払額	4年度支払予定額	受注者	契約工期
旧吉野家住宅 屋根葺き替え 工事	経年劣化に伴う屋根葺き替え工事	42,900	13,800	29,100	(有)田中木工	11.30 ～R4.10.31

(歳出 10 教育費)

1 美術館管理経費

(1) 青梅市美術館運営委員会

ア 青梅市美術館運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
妹尾達実	学校教育関係		◎橋本善八	知識経験者	
横手多喜子	社会教育関係		○佐川美智子		
栗原郁夫			塩野麻理		
持田晃子					

任期：令和2年10月7日～令和4年10月6日 ◎は委員長、○は副委員長

イ 青梅市美術館運営委員会開催回数 2回

2 美術館事業経費

(1) 展示事業

ア 展覧会および観覧者数

(単位：日、人)

展覧会名	会期	日数	観覧者数	内容	備考
特別展 「明治水彩の隠れた巨匠 —五百城文哉作品展」	4.10 ～ 5.30	28	1,755	3作家126点 水戸市立博物館が 所蔵・寄託する水 彩画家五百城文哉 の水彩画を展示	新型コロナウ イルス感染拡 大防止のため 4.27～5.14は 臨時休館
特別展 「創立100周年記念 青梅信用金庫所蔵美術 展」	9.18 ～ 11.7	44	5,305	30作家46点 青梅信用金庫が所 蔵する川合玉堂、 東山魁夷、前田青 邨、高山辰雄等の 日本画を展示	
共催展 「アートビューイング 西多摩2021 —開花するアート」	11.20 ～ 1.16	45	1,136	21作家40点 西多摩地域で活動 する若手アर्टィ ストの現代美術を 展示	展示作家によ るギャラリー トークやワー クショップ、 小学校へ出前 授業も行う
共催展 「青梅市小学校造形作品 展」	1.29 ～ 1.30	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止 のため中止	
館蔵企画展 「生誕130年 —小島善太郎展」	2.11 ～ 3.27	39	1,138	1作家49点 市役所本庁舎の展 示品を除く館蔵品 全点を展示	
合計		156	(A)9,334		1日平均60人

常設展示 小島善太郎、藤本能道作品 (年3回展示替え)

市役所展示 小島善太郎、藤本能道作品 本庁舎2階展示コーナー(年3回展示替え)

イ 貸出施設使用による展示等

(単位：回、日、人)

種別	開催数	日数	利用者数
一般展示	3	15	830
共催展示	1	45	814
合計	4	60	(B) 1,644

美術館総入館者数 (A) + (B) = 10,978人

(2) 普及事業

(単位：日、回、人)

種別	内容	開催日	回数	講師等	参加数
連携事業	特別展「五百城文哉作品展」の関連事業 「奥多摩さんぽ～山野草見学&テラリウムづくり～」 (一財) おくたま地域振興財団と連携して実施	4.22	1	(一財) おくたま地域振興財団 ネイチャード ガイド	12
アートビューイング 西多摩 2021 関連事業	実技講座 西多摩地域の小学校で交流授業を実施 (青梅市立第四小学校、あきる野市立西秋留小学校、青梅市立藤橋小学校、日の出町立本宿小学校、奥多摩町立古里小学校、奥多摩町立氷川小学校)	10.8 10.12 10.19 10.21 10.28 10.29	6	伊藤 一 洋 松本 隆 麻生 志保 青梅夜具地会 夕日色の会 原田 丕 酢 平 ☆	285
	鑑賞教室 青梅市立第七小学校が作品鑑賞	12.9	1	原田 丕	17
	ギャラリートーク 参加作家による出品作品の解説	12.12 1.9	2	参加作家	21
	ワークショップ 「墨あそび一見えないものを描く」	12.19	1	下向 恵子	8
	講演会 「金色と鏡—古代ギリシア彫刻からブランクーシへ」	12.19	1	松本 隆	15

(3) 収蔵作品数

(単位：点)

	日本画	油彩	素描	版画	彫刻	工芸	書	合計
前年度末保有数	356	374	786	640	11	130	5	2,302
本年度中 増加分	購入	0	0	0	0	0	0	0
	寄贈	0	0	0	0	0	0	0
本年度末保有数	356	374	786	640	11	130	5	2,302

(歳出 10 教育費)

1 吉川英治記念館管理経費

(1) 記念館事業

ア 展示事業

展 示 名	期 間	内 容
常設展示	4.1～3.31	吉川英治の生い立ちや作品について、直筆原稿、写真パネル、愛用の品々など収蔵資料を展示
春季展示 「吉川英治の書簡展～交友関係を垣間見る～」	4.3～6.27	川合玉堂ら著名人から吉川英治に充てた書簡や、英治直筆の書簡を通して、彼の交友関係を紹介
夏季展示「吉川英治と市所蔵直筆資料展～青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト～」	7.10～10.3	ゲーム『文豪とアルケミスト』とタイアップを実施し、吉川英治をはじめ、英治と親交があった菊池寛、川端康成、室生犀星など、青梅市が所蔵する著名作家の直筆原稿や書簡等を紹介
市制施行70周年記念秋季展示「『新・平家物語』の世界」	10.9～12.19	市制施行当時、吉野村柚木（現在の青梅市柚木町）で執筆された吉川英治の名作『新・平家物語』の直筆原稿や関連資料を紹介
市制施行70周年記念新春展示「市民所蔵の吉川英治作品展」	1.4～3.27	市広報等で募集した市民の所蔵する吉川英治作品等を展示するとともに、英治とのかかわりに関するエピソード等を紹介

イ 普及事業

事 業 名	期 間	内 容
地域連携事業 「辛垣城跡の御城印配布」	4.1～5.30	地元関係者の協力により作成した御城印をアンケート協力者への来館記念として配布
ミニ展示 「吉川英治賞」	4.1～6.27	2021年吉川英治文学賞や吉川英治文学新人賞などの受賞者をパネル展示等で紹介
地域連携事業 「五月人形展」	5.15～6.13	地元関係者の協力により、五月人形等を母屋で展示
地域連携事業 「青梅夜具地展」	11.2～11.28	地元団体と連携し、青梅夜具地の反物や作品を母屋で展示
秋のライトアップと夜間開館	11.23～11.28	地元団体と連携し、母屋と庭園のライトアップと20時までの夜間開館を実施
成人の日お祝い企画	1.8～1.10	成人の日のお祝い企画として、対象者を観覧料無料、ポストカードとお土産をプレゼント
地域連携事業 「ひな人形展」	2.19～3.21	地元関係者の協力により、ひな人形や吊るしびな等を母屋で展示
記念館的ビブリオバトル & 元編集者によるトークライブ	2.20	記念館スタッフが吉川英治の短編作品の中から推薦本を紹介し、参加者が判定。また、中央公論社の元編集者を招いて講演を実施
春の美術館めぐり	3.10～3.11	青梅きもの博物館、吉川英治記念館、櫛かんざし美術館および玉堂美術館の4館をめぐる無料循環バスを運行

事業名	期間	内容
ミニ展示 「吉川英治賞」	3.18～3.31	2022年吉川英治文学賞や吉川英治文学新人賞などの受賞者をパネル展示等で紹介
母屋で楽しむアコースティックコンサート	3.20	記念館の母屋内でアコースティックコンサートを開催

その他、母屋内での投げ入れ花の通年展示をはじめ、夏の日思い出展、夏休み自由研究サポート、ハロウィン企画、クリスマスミニ企画、美しき桜心の物語の語り会（収録）、畠山重忠パネル展示等を実施した。なお、シーズンイベントとして予定していた日本家屋でのびのびヨガ、吉川英治記念館ガイドボランティア養成講座等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

ウ 貸出事業

資料名	貸出期間	貸出先	理由
「宮本武蔵」原稿 2点 吉川英治書直筆の色紙 1点 吉川英治の万年筆 2点	12.3～3.15	さいたま文学館	展示のため
「新・平家物語」原稿 1点	3.24～3.31	鎌倉文学館	展示のため

エ 入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備考
4	394	22	10	737	27	個人 6,170人 団体 589人 月平均 563人 1日平均 23人
5	214	14	11	1,317	25	
6	343	26	12	347	24	
7	739	27	1	244	24	
8	517	26	2	375	24	
9	559	26	3	973	27	
合計				6,759	292	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4.27～5.14は臨時休館

2 吉川英治記念館施設整備経費

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
吉川英治記念館高圧交流負荷開閉器(PAS)交換工事	老朽化に伴う高圧交流負荷開閉器(PAS)交換工事	814	(株)萩原電機	8.27 ～11.30
青梅市吉川英治記念館ブロック塀改修工事	ブロック塀撤去工事	1,980	(株)藤原土建	10.22 ～12.21
青梅市吉川英治記念館植栽工事	ブロック塀撤去後の植栽工事	1,235	池尻造園(有)	11.19 ～12.21
合計		4,029		

(歳出 10 教育費)

中央図書館と9分館をもって、図書等資料の充実と利用者への資料提供の迅速化を図り、生涯学習の中核施設として図書館活動の推進に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための緊急事態宣言により、令和3年4月27日から5月11日まで、図書館全館を休館した。また、分館図書館では、市民センターにおける新型コロナウイルスワクチン接種会場に伴い、臨時休館を行った。年間を通じ、感染拡大防止対策のため、利用時間や事業参加人数の制限等、サービスを一部制限して開館した。

1 図書館管理運営経費

(1) 青梅市図書館運営協議会

ア 青梅市図書館運営協議会委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
山崎尚史	学校教育関係者	6.16退任	波田野英嗣	社会教育関係者	7.14退任
実森浩明		6.17就任	原島夕紀		7.15就任
○平岡直実				村田由子	知識経験者
園田陽子			清水久恵	7.15就任	
谷崎正江	社会教育関係者	9.30退任	片岡元雄	9.30退任	
川名政子		10.1就任	中島健士郎	10.1就任	
			◎沖川伸夫		

任期：令和3年10月1日～令和5年9月30日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市図書館運営協議会開催回数 3回

(2) 各図書館の状況

ア 実績

(ア) 図書館および図書の利用数

(単位：日、人、回、冊)

図書館名	開館日数	登録者数 (令和4年3月31日現在)			利用者数			団体貸出	
		一般	児童	計	一般	児童	計	回数	冊数
中央	321	29,648	5,044	34,692	126,495	11,524	138,019	251	4,247
青梅	320	1,315	160	1,475	14,064	1,324	15,388	22	502
長淵	317	2,035	211	2,246	10,914	1,835	12,749	84	830
大門	317	2,152	158	2,310	10,171	1,227	11,398	14	512
梅郷	317	1,421	150	1,571	9,331	1,593	10,924	12	95
沢井	318	557	64	621	2,505	508	3,013	1	14
小曾木	317	397	35	432	3,245	550	3,795	24	659
成木	317	355	51	406	1,974	688	2,662	43	840
新町	317	2,989	295	3,284	19,483	3,583	23,066	21	357
今井	318	1,348	129	1,477	7,735	926	8,661	20	401
合計		42,217	6,297	48,514	205,917	23,758	229,675	492	8,457

※ 中央図書館の開館日数には、12月29日の試行的開館を含む。

(単位：冊)

図書館名	個人貸出冊数				蔵書冊数		
	一般	児童	雑誌	計	一般	児童	計
中央	209,130	102,038	29,969	341,137	256,971	60,259	317,230
青梅	28,891	12,737	2,227	43,855	35,231	17,374	52,605
長淵	24,039	19,150	2,109	45,298	17,520	12,934	30,454
大門	24,260	12,692	1,696	38,648	21,264	12,857	34,121
梅郷	18,541	13,908	2,605	35,054	17,831	12,222	30,053
沢井	5,311	4,769	884	10,964	11,882	11,674	23,556
小曾木	7,373	4,657	807	12,837	12,513	10,826	23,339
成木	3,324	7,924	349	11,597	13,150	10,835	23,985
新町	37,754	33,839	3,296	74,889	18,885	16,607	35,492
今井	18,752	7,990	1,928	28,670	17,138	12,078	29,216
合計	377,375	219,704	45,870	642,949	422,385	177,666	600,051

(イ) その他の資料の利用数

(単位：点)

図書館名	個人貸出点数		蔵書点数	
	視聴覚資料	ハンディキャップ資料	視聴覚資料	ハンディキャップ資料
中央	75,705	912	19,596	1,631

イ 蔵書数の増減

(ア) 図書

(単位：冊)

図書館名	受入冊数						廃棄冊数		
	購入冊数			寄贈冊数			一般	児童	計
	一般	児童	計	一般	児童	計			
中央	5,048	1,649	6,697	443	74	517	3,258	618	3,876
青梅	705	399	1,104	81	5	86	430	202	632
長淵	524	345	869	236	6	242	597	374	971
大門	582	394	976	55	3	58	520	254	774
梅郷	527	314	841	69	41	110	399	298	697
沢井	474	234	708	82	12	94	449	271	720
小曾木	481	318	799	65	36	101	316	230	546
成木	376	408	784	49	5	54	573	183	756
新町	678	465	1,143	69	7	76	718	285	1,003
今井	562	247	809	53	3	56	458	195	653
合計	9,957	4,773	14,730	1,202	192	1,394	7,718	2,910	10,628

(歳出 10 教育費)

(イ) その他の資料

(単位：点)

図書館名	資料名	受入点数			廃棄点数
		購入点数	寄贈点数	計	
中央	視聴覚資料	447	15	462	174
	ハンディキャップ資料	9	50	59	0

ウ 講座等の実施状況

(単位：回、人 ○は子ども読書活動推進事業)

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延参加人数
中央図書館2階視聴覚コーナー資料展示	中央図書館	4.1～3.31	12	—	—
中央図書館2階ハンディキャップコーナー展示	中央図書館	4.1～3.31	4	—	—
中央図書館3階児童コーナー資料展示	中央図書館	4.1～3.31	37	—	—
中央図書館3階資料展示	中央図書館	4.1～3.31	52	—	—
中央図書館4階資料展示	中央図書館	4.1～3.31	9	—	—
分館資料展示	9 分 館	4.1～3.31	375	—	—
○絵本の森	中央図書館	4.2～3.4	9 (2)	図書館ボランティア	30
○おはなし会	梅郷市民センター	4.3 12.4	2	図書館ボランティア	2
○ひとりじめおはなし会	中央図書館	4.4～3.20	42 (18)	図書館スタッフ	102
○おはなしにちようピーナッツ	中央図書館	4.11～3.13	10 (2)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	65
○おはなし会	今井市民センター	4.17～3.19	7 (3)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	39
○おはなし会	青梅図書館	4.18～3.20	8 (2)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	54
好きな本こいのぼり	中央図書館	4.21～4.26	1	—	10
○おはなしドーナッツ	中央図書館	4.22～3.18	10	齋藤厚子 大堀知子 佐藤貞子	141
○おはなし会	中央図書館	4.24～3.26	12 (1)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	78
○ちっちゃいこのおはなし会	中央図書館	4.25～3.27	14 (1)	図書館スタッフ	76
○うめこの時間 (おはなし会)	梅郷市民センター	4.25～3.13	8	図書館スタッフ	40

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
ラッピング絵本	新 町 図 書 館	5.19～5.31	1	—	53
ラッピング絵本	今 井 図 書 館	5.21～6.11	1	—	5
絵本おたのしみセット	小 曾 木 図 書 館	5.29～6.6	1	—	14 セット
○出張おはなし会	若 草 小 学 校	6.18～10.29	13	図書館ボランティア 図書館スタッフ	440
○施設見学 (市内小学校)	中央・成木図書館	6.22～12.3	5	図書館スタッフ	306
ねがい星かなえ星	小 曾 木 図 書 館	6.22～7.7	1	—	47
○初級おはなし学習会	中 央 図 書 館	7.8～12.9	5 (3)	青梅おはなしの会	50
○絵本のべんきょう会	中 央 図 書 館	7.9～3.11	5	伊藤美枝子	49
本でビンゴ	新 町 図 書 館	7.17～8.22	1	—	101
小曾木成木合同スタンプラリー	小曾木・成木図書館	7.21～8.31	1	—	74
きみもはかせ！いろいろ読んでもものしりになろう	梅 郷 図 書 館	7.26～8.31	1	—	92
スタンプためて図書館バッグをゲットしよう！	今 井 図 書 館	7.27～8.31	1	—	35
○工作教室「ポップアップカードを作ろう」	中 央 図 書 館	8.3	— (2)	吉 永 志 伸	新型コロナ ウイルス感染 拡大防止の ため中止
社会体験研修 (市内小学校教諭)	中 央 図 書 館	8.5 8.6 8.13	1	図書館スタッフ	1
書き出し本&かくれんぼ絵本	新 町 図 書 館	10.1～10.7	1	—	51
市制施行70周年記念展示 図書館資料で知る青梅	中 央 図 書 館	10.1～10.12	1	—	621
ワクワク秋祭り	成 木 図 書 館	10.10～ 11.30	1	—	191
ひゃっか王からの挑戦状	中 央 図 書 館	10.20～ 11.14	1	—	170
○おはなし会 (小学生以上)	中 央 図 書 館	10.23～3.26	3	図書館ボランティア 図書館スタッフ	12
社会体験研修 (市内中学校教諭)	中 央 図 書 館	10.26	1	図書館スタッフ	1

(歳出 10 教 育 費)

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
○職場案内 (市内中学校)	第 三 中 学 校	10.28	1	図書館スタッフ	65
○職場体験 (高等部・高等学校)	中 央 図 書 館	11.10～ 11.12	1	図書館スタッフ	2
えほんでクイズ	小 曾 木 図 書 館	11.10～ 12.19	1	—	23
ひゃっか王からの挑戦状	9 分 館	11.17～ 12.19	1	—	282
○乳幼児向けおはなし会 「絵本でスキンシップ」	河辺市民センター	11.30～3.9	3	図書館スタッフ	19
書き出しで選ぶこの1冊	今 井 図 書 館	12.1～12.10	1	—	32
クリスマスかくれんぼ絵本	今 井 図 書 館	12.1～12.10	1	—	9
○大人のためのおはなし会	中 央 図 書 館	12.4	1	青梅おはなしの会	20
クリスマスの本を探そう	成 木 図 書 館	12.18～ 12.26	1	—	39
○おはなし会	新町市民センター	12.22	3	図書館ボランティア 図書館スタッフ	4
ラッピングブック あらすじから選ぶ1冊	長 淵 図 書 館	12.22～ 12.28	1	—	33
中央図書館映画会	中 央 図 書 館	12.26～3.27	4	—	45
新春イベント しおりプレゼント	青 梅 図 書 館	1.4～1.5	1	—	70
新春おみくじ付きお楽しみ袋	新 町 図 書 館	1.4～1.5	1	—	30袋
新春イベント しおりプレゼント	新 町 図 書 館	1.4～1.5	1	—	120
新春イベント お楽しみ袋&ひよっこり絵本	青 梅 図 書 館	1.4～1.7	1	—	20袋
新春イベント お楽しみ袋	沢 井 図 書 館	1.4～1.8	1	—	10袋
新春イベント お楽しみ袋	小 曾 木 図 書 館	1.4～1.10	1	—	32袋
新春イベント トラをさがせ	成 木 図 書 館	1.4～1.10	1	—	30
新春イベント お正月福笑いで初笑い	梅 郷 図 書 館	1.4～1.16	1	—	33
本でしりと	小 曾 木 図 書 館	1.19～2.19	1	—	8

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
ハラハドキドキわかさぎ釣り	成 木 図 書 館	2.1~3.13	1	—	160
バリアフリー上映会	中 央 図 書 館	3.6	1	—	29
利用者懇談会	中 央 図 書 館	3.20	1	—	6
枯れ木に花を咲かせましょう♪	成 木 図 書 館	3.20~3.31	1	—	134
○中央図書館子ども映画会	中 央 図 書 館	3.27	1	—	6

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4月27日～6月20日、7月12日～9月30日の講座等の開催は中止した。(計33回)また、実施事業については、参加人数の制限を行い実施した。なお、上記実施状況の回数欄の()内は中止回数(外数)である。

エ 対面朗読サービス

実 施 場 所	実 施 回 数	延 実 施 時 間 数	朗 読 者
中央図書館対面朗読室 ボランティア室	18回 (遠隔7回)	23.5時間 (遠隔7時間)	図 書 館 協 力 員 図 書 館 ス タ ッ フ

※ ()内は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、朗読者と利用者の部屋を分け、遠隔操作にて行った回数および実施時間の内数。

オ 再利用図書の状況

(単位：冊)

区 分	再 利 用 冊 数	備 考
一 般 書	7,085	中央図書館の常設リサイクルコーナー
児 童 書	958	1.14 市内小・中学校、保育所等対象の再利用図書展示会(全館分)
	2,837	中央図書館の常設リサイクルコーナー
雑 誌	6,813	実施日は館により異なる
合 計	17,693	

カ 乳幼児預かりサービス

実 施 場 所	実 施 回 数	延 利 用 者 人 数	備 考
中央図書館おはなしの部屋	0回	0人	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

(3) 相互利用登録者数

(単位：人)

区 分	一 般	児 童	合 計
飯 能 市	22	7	29
入 間 市	20	0	20

(歳出 10 教 育 費)

(4) 子ども読書活動推進事業

ア その他の講演会・講座の実施状況

(単位：人)

内 容	期 日	講 師	会 場	参加人数
調べる学習相談窓口	7.31～8.14	図書館スタッフ	中央図書館	8
子ども読書活動推進事業絵本原画展 「大自然のいのちと手島圭三郎の世界」	8.6～8.15	—	中央図書館	716
第5回青梅市図書館を使った調べる 学習コンクール審査会	10.26	—	中央図書館	6
学校図書館ボランティア修理講習会	11.8	図書館スタッフ	第三小学校	12
第5回青梅市図書館を使った調べる 学習コンクール表彰式	12.4	—	市 役 所	28

イ ブックリストの配布

市内幼稚（児）園・保育所および小・中学校等にブックリストを配布した。

ウ 図書館カードの作成

「子どもの読書活動推進」を図るため、全小学校の1年生に図書館カードの作成を行った。既登録者279人に今回の新規登録者593人を加え872人（1年生全体の95.1%）の児童が図書館カードを持つこととなり、図書館利用の促進を図ることができた。

エ 学校と図書館の連携推進

第四次青梅市子ども読書活動推進計画により、学校図書館運営支援として、東小・中学校を除く小・中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や児童・生徒の読書活動・学習支援等を行った。

また、小学校と図書館が連携して児童の読書活動を推進するため、学校連携推進重点校である藤橋小学校の3、4年生を対象とした講演会開催、2年生に図書館見学、4、5年生による「中央図書館一日図書館長」の体験、団体貸出の推進を通じて読書活動の活性化を図った。

内 容	会 場	期 日	回数	講 師	参加人数
学校図書館運営支援	小・中学校	4.26～3.23	990回	図書館スタッフ	—
中央図書館一日図書館長 (学校連携推進重点校事業)	中央図書館	10.30	1回	図書館スタッフ	4人
前沢明枝氏講演会 ※	藤橋小学校	2.15	1回	前 沢 明 枝	60人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、講師講演を校外から教室へ中継。

(5) 備品購入

(単位：台、千円)

件名	内容	台数	契約金額	受注者
青梅市図書館備品購入	図書除菌機	11	9,075	(株)図書館流通センター

2 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

西多摩地域図書館広域利用登録者数

(単位：人)

区分	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	奥多摩町	檜原村	計
一般	45	108	23	29	6	20	0	231
児童	3	15	2	6	0	3	0	29
合計	48	123	25	35	6	23	0	260

○ 文化交流センター費 (38,418,827円)

[社会教育課]

1 文化交流センター管理経費

(1) 青梅市文化交流センター運営協議会

ア 青梅市文化交流センター運営協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 橋本 研	利用団体の代表者		山本佳紹	自治会の代表者	
本田正実			守谷憲太郎		
斉藤裕子			○ 川崎真也子	生涯学習 コーディネーター	
中林彰子			鬼塚昌和	公募の市民	
増子ますみ	生涯学習推進 市民会議の代表者				

任期 令和3年4月1日～令和5年5月31日 ◎は委員長、○は副委員長

イ 青梅市文化交流センター運営協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面開催を1回開催した。

(2) 生涯学習コーディネーター・プロデューサーの設置

ア 生涯学習コーディネーター・プロデューサー

文化交流センターにおける生涯学習の推進を図った。

区分	氏名	区分	備考
生涯学習コーディネーター	川崎真也子		
生涯学習プロデューサー	須崎八州治	音楽文化空間	
	正田徳衛	にぎわい創出	6.1就任
	神山由香里	市民活動	

イ 生涯学習コーディネーター・プロデューサー会議開催回数 8回

ウ ネットたまぐーセンター利用者懇談会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(歳出 10 教育費)

(3) 利用状況

ア 多目的ホール

(単位：回、人)

延べ利用回数	延べ利用人員	稼働率	
		使用可能回数	率(%)
485	13,237	818	59.3

イ 会議室等

(単位：回、人)

延べ利用回数	延べ利用人員	稼働率	
		使用可能回数	率(%)
14,328	65,545	27,398	52.3

令和3年4月27日から5月31日まで緊急事態宣言のため、施設を休館した。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、6月1日～9月30日まで夜間2（19:30～22:00）の時間帯を使用不可とするなど対策を講じた。

(4) 備品購入

(単位：千円)

件名	内容	契約金額	受注者
青梅市文化交流センター備品購入	除加湿空気清浄機	106	榊青和施設工業所

(5) 市民映画会

命名権料を財源とし、市民映画会を開催した。

(単位：人)

期日	映画名	延観覧者数
3.5	二宮金次郎	84
3.26	インサイド・ヘッド	36

保 健 体 育 費

3 5 1 , 8 0 2 , 0 5 6 円

○ スポーツ推進費 (3 5 1 , 8 0 2 , 0 5 6 円) [スポーツ推進課]

1 スポーツ推進事業経費

(1) 青梅市スポーツ振興審議会

ア 青梅市スポーツ振興審議会委員

(令和4年3月31日現在)

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
○ 杉 山 裕 之	社会体育関係	◎ 本 村 清 人	知 識 経 験 者
神 尾 和 弘		市 川 幸 次	
渡 辺 清 美		小 花 紀 彦	
武 藤 比 奈 子		森 田 昭 子	
神 野 孝 彦	学校体育関係		

任期：令和2年5月14日～令和4年5月13日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市スポーツ振興審議会開催回数 (書面開催含む) 3回

区 分	期 日	内 容
会 議	7.16	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助等の結果について (報告) 青梅ロードレース2021バーチャル結果について (報告) 令和3年度スポーツ推進事業について (報告) オリンピック・パラリンピックの主な取り組みについて (報告) 青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助および表彰について (諮問)
	10.22	<ul style="list-style-type: none"> オクトーバー・ラン&ウォーク2021について (報告) 第83回奥多摩溪谷駅伝競走大会の開催について (報告) 第55回記念青梅マラソン大会の延期および代替イベントの実施について (報告) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について (報告) 青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰について (諮問) 青梅市スポーツ施設ストック適正化計画について (その他)
	1.28	<ul style="list-style-type: none"> 第83回奥多摩溪谷駅伝競走大会開催結果について (報告) 青梅ロードレース2022バーチャルについて (報告) 青梅市スポーツ振興基金について (報告) 青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助について (諮問) 青梅市スポーツ施設ストック適正化計画 (案) について (諮問)

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、7月16日は書面開催

(2) 青梅市スポーツ推進委員

ア 青梅市スポーツ推進委員

(令和4年3月31日現在)

氏名	担当地区	氏名	担当地区
荒井早苗	第1支会	浅見幸男	第6支会
菅野正浩		黒木伸二	
藤野昌男		野口真吾	第7支会
◎渡辺清美	第2支会		第8支会
細川昭男		○野村欣史	
岩田忠		○三角和則	
谷村光智		森真紀	
相原敏治	第3支会	中西裕樹	第9支会
寺島永子		清水唯人	
井上学	第4支会	奥山忠夫	第10支会
原島弘			
小山和也	第5支会	久保田靖典	第11支会
金丸典子		石上憲志郎	
			三団地

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市スポーツ推進委員協議会開催回数（定例会）（書面開催含む） 12回

ウ 研修会

(単位：人)

期日	会場	内容	参加員 人
6.26	オンライン研修	ニュースポーツ研修会	1
2.12	オンライン研修	東京都地域スポーツ支援研修会	3

エ 軽スポーツ普及事業

青梅市スポーツ推進委員が、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして、ボッチャの指導・普及を目的とした練習会、交流会を計画していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

オ ウォーキングフェスタ

いつでも、どこでも、手軽にできるウォーキングを通し、体力増進・健康保持とあわせて「私たちのまち・青梅」を楽しく歩いて頂くことを目的に、第17回ウォーキングフェスタを実施した。

(単位：人)

期日	内容	主管	参加人員
11.23	スタート・ゴール コース 青梅市役所 約12km	青梅市スポーツ推進委員協議会	96

(3) 体育団体に対する補助

団 体 名	補 助 額	補 助 の 目 的	備 考
(一社) 青梅市スポーツ協会	1,645千円	体 育 団 体 の 育 成	加盟団体30団体

(4) ジュニアスポーツ教室

児童のスポーツ活動の活性化と健全育成を図るため、小学生を対象に、一般社団法人青梅市スポーツ協会に委託をしてスポーツ教室の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は中止とした。

(5) 柔剣道スポーツ教室

開催結果

(単位：教室、回、人)

教 室 名	期 間	教 室 数	回 数	参加人員	指 導 者
柔道スポーツ教室	4.1～3.31	6	119	1,420	青梅市柔道連盟指導員
剣道スポーツ教室	4.1～3.31	10	182	1,828	青梅市剣道連盟指導員
合 計		16	301	3,248	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等のため、5月1日から9月26日および1月22日から3月20日までの期間、教室中止

(6) 第62回市民体育大会

市民の健康・体力づくりと競技力の向上を目指し、スポーツを通じた地域交流を図るため、市民を対象に、一般社団法人青梅市スポーツ協会に委託をして市民体育大会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は中止とした。

(7) 各種スポーツ大会

開催結果

(単位：人)

大 会 名	期 日	種 目	会 場	参加人員
都 民 体 育 大 会	10.13	ゴ ル フ	立川国際カン トリー倶楽部	5
都民生涯スポーツ大会	10.23	水 泳	東京国際辰巳 水泳場	8

※ 都民体育大会の一部(春季大会・冬季大会)・東京都市町村総合体育大会・都民スポレクふれあい大会・都民生涯スポーツ大会(水泳・バドミントン競技以外)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(8) 第32回スポーツ・レクリエーションフェスティバル

10月10日(日)にスポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代替として市の体育施設を市民に無料で開放した。

(歳出 10 教 育 費)

(9) オクトーバー・ラン&ウォーク2021

一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する、スマートフォンアプリを用いて自治体間で走行・歩行距離を競うランニング・ウォーキングイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」に青梅市として参加し、コロナ禍においてもスポーツを楽しめるよう、個々で取り組むことができ、スポーツを始めるきっかけとなる機会の提供を行った。

開催期間 10月1日（金）～10月31日（日）

参加人数 ランニングの部 130人

ウォーキングの部 609人

2 スポーツ振興奨励関係経費

市民の心身の健全な育成と社会体育の振興を図るため、市民ならびに市内に活動の本拠のある個人および団体のスポーツ等の活動に対し、援助および表彰を下記のとおり行った。

令和3年度青梅市スポーツ振興基金援助総括 (単位：千円、件)

区 分	援助金額	内 容
1 大会出場報償事業 (施行規則第2条第1項第1号)	110	第44回(2021年度)全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会以下 2
2 スポーツ普及推進事業 (施行規則第2条第1項第2号)	31	初心者テニス教室以下 2
3 大会運営事業 (施行規則第2条第1項第3号)	0	なし
4 その他事業 (施行規則第2条第1項第4号)	1,460	スポーツ育成強化事業以下 6
5 表彰 (施行規則第2条第2項)	377	青梅市スポーツ栄誉賞 個人 1人 青梅市スポーツ特別賞 個人 1人 青梅市スポーツ功労賞 個人 1人 青梅市スポーツ賞 個人 16人 団体 2団体(14人) 青梅市スポーツ奨励賞 個人 10人 団体 3団体(52人)
合 計	1,978	

3 青梅マラソン大会開催経費

第55回記念青梅マラソン大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とし、代替イベントとしてスマートフォンアプリなどを利用したオンラインマラソン「青梅ロードレース2022バーチャル」を実施した。

(1) 実施期間 2月11日(金)～2月28日(月)

(2) 人数

(単位：人)

区 分	エントリー数	参加者数	完走者数
10キロの部	664	598	582
30キロの部	2,572	2,399	2,258
ペア5キロの部	35	29	28
合 計	3,271	3,026	2,868

4 奥多摩溪谷駅伝開催経費

第83回奥多摩溪谷駅伝競走大会 期日 12月5日(日)

一般、大学、高校の部

青梅市役所前 ⇄ J R 青梅線奥多摩駅前折返し 44.8km

女子、支会・自治会の部

J R 青梅線御嶽駅前 ⇒ 青梅市役所前 11.1km

なお、小学生の部、中学生の部は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

開催結果

参加チーム数 246チーム

区分 部別	参加 チーム数	成 績		
		1 位	2 位	3 位
一 般	142	コモディイイダ (2時間13分04秒)	警 視 庁 (2時間14分15秒)	御 殿 場 R C (2時間19分55秒)
大 学	26	山 梨 学 院 大 学 (2時間15分55秒)	拓 殖 大 学 (2時間16分09秒)	中 央 大 学 (2時間18分23秒)
高 校	8	東 京 実 業 高 校 B (2時間22分18秒)	國 學 院 久 我 山 高 校 (2時間25分22秒)	福 生 高 校 (2時間25分29秒)
女 子	54	松 蔭 大 学 A C (37分35秒)	八王子プロジェクトA (37分38秒)	東 京 実 業 高 校 (38分01秒)
支 会 ・ 自 治 会	16	新 町 7 丁 目 新 田 山 (36分45秒) (大会新記録)	ダ イ モ ン D 2 (44分38秒)	第 九 支 会 (45分24秒)

(歳出 10 教 育 費)

5 学校体育施設開放関係経費

市民のスポーツ活動の場として、市内小・中学校の体育館と校庭を開放した。

(1) 学校施設開放運営委員会委員

氏 名	選 出 区 分	氏 名	選 出 区 分
◎ 田 中 明 子	中 学 校 校 長	肥 後 友 輝	小 学 校 体 育 教 諭
○ 神 尾 健 彦	小 学 校 校 長	早 川 博	文 化 関 係 団 体
佐 藤 信 雄	中 学 校 副 校 長	小 椋 勝 宏	体 育 関 係 団 体
田 澤 直 子	小 学 校 副 校 長	島 田 規 啓	
田 村 拓 巳	中 学 校 音 楽 教 諭	寫 田 史 生	P T A 役 員

任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ◎は委員長、○は副委員長

(2) 学校施設開放運営委員会開催回数 (書面開催含む) 2回

期 日	内 容
8.5	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度学校施設開放事業利用状況について 令和3年度学校別登録数等について 令和3年度学校施設開放事業関係予算について 学校施設開放(音楽室)利用状況集計表について 新型コロナウイルス感染拡大防止について
11.12	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度学校施設開放事業に関するアンケート結果について 令和4年度青梅市立学校施設開放団体登録について(体育館および校庭) 令和4年度青梅市立学校施設開放団体登録について(音楽室) 青梅市文化交流センター地下活動室改修に伴う一部施設の利用不可による代替場所としての青梅市立成木小学校および青梅市立第七中学校の体育館の使用について

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月5日は書面開催

(3) 利用状況

登録団体

192団体

(単位：回、人)

区 分	利 用 回 数	人 員	
小 学 校	体 育 館	1,319	26,494
	校 庭	1,327	55,401
中 学 校	体 育 館	798	10,882
	校 庭	258	4,711
体 育 館 計	2,117	37,376	
校 庭 計	1,585	60,112	
合 計	3,702	97,488	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言発出のため、4月27日から校庭を5月31日まで、体育館を6月25日まで開放中止

6 屋内温水プール開放事業経費

民間温水プールを借り上げ、日曜日の午前10時から午後6時まで開放した。

なお、10月10日以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間および定員の制限をして開放した。

開催結果

(単位：回、人)

開放日	開放場所	回数	利用人員		
			大人	小人	計
毎週日曜日	セントラルフィットネスクラブ西東京店	26	572	300	872

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため5月1日から10月10日までの期間中止

7 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

西多摩地域の住民の間に広くスポーツ・レクリエーションを普及し、地域でのスポーツの活性化と住民の交流・親睦を図ることを目的に、あきる野市・檜原村が当番市町村となり、令和2年度から令和3年度へ延期された第30回西多摩地域広域行政圏体育大会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

なお、体育大会の前日に誰でも気軽に楽しめる参加型イベント「スポーツフェスタ」についても、併せて中止とした。

8 39市町村共同事業助成経費

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金を活用し、継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業、障害者スポーツ、ニュースポーツの振興および理解促進に資する事業を行った。

(1) スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム

小学校3年生以上から高校生を対象としたカヌー体験プログラムを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(2) タグラグビー体験会

市内の小中学生を対象としたタグラグビーの体験会を計画し、1月22日および1月29日に第一小学校にて実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(3) エクストリームスポーツ体験教室

スポーツライミング等のエクストリームスポーツの体験教室を企画し、1月29日および1月30日にわかぐさ公園で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(4) 市制施行70周年記念「2021年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」

市政70周年を記念した特別巡回ラジオ体操を9月12日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(歳出 10 教育 費)

9 総合体育館管理経費

青梅市総合体育館および青梅市体育施設7施設について、平成28年4月から指定管理者制度を導入し、新たに平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、青梅市スポーツ施設運営パートナーズが運営を行っている。

また、青梅市総合体育館については、命名権（ネーミングライツ）制度を導入し、平成31年4月から5年間の協定を住友金属鉱山株式会社と締結し、施設愛称を「住友金属鉱山アリーナ青梅」として運営している。

(1) 利用状況

開館日数 137日 利用人員 21,121人 (単位：件、人、回)

施設名	利用区分	団体利用		個人利用			計	
	区分	利用件数	人員	開放回数	人員		人員	
					大人	小人		計
第1スポーツホール		114	2,908	69	4,348	1,768	6,116	9,024
第2スポーツホール		39	543	5	18	87	105	648
トレーニングルーム		—	—	137	8,830	9	8,839	8,839
会議室		277	2,610	—	—	—	—	2,610
合計		430	6,061	211	13,196	1,864	15,060	21,121

※ 登録制教室(1,960人)、当日制教室(2,355人)、幼児一時預かり(0人)は含まない
 新型コロナウイルスワクチン接種会場のため、4月27日から11月30日まで全施設閉鎖
 (受付窓口以外)、第2スポーツホールおよび第3会議室は新型コロナウイルスワクチン
 接種会場のため、11月29日から令和4年3月31日まで閉鎖

※ なお、青梅市総合体育館および青梅市体育施設7施設について試行的に12月29日を利用可能とした。

(2) 修繕

(単位：千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
青梅市総合体育館 およびわかぐさ公園 こどもプール管理棟 新型コロナウイルス 感染症対策水栓自動 化修繕	総合体育館内の 既存蛇口を非接触型 自動水栓へ交換	870	(株)青和施設 工業所	10.26 ～3.30
青梅市総合体育館 新型コロナウイルス 感染症エントランス 建具修繕	総合体育館エントラン スの自動ドア化修繕	10,010	ナブコシステム (株)西東京支店	10.16 ～3.30

10 永山公園総合運動場管理経費

利用状況

利用回数 6,985回 利用人員 45,617人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
陸上競技場	昼間	443	1,802	24.6	49	1,122	4.4	394	680	57.9	4,866	1周300m・ソフト2面
	夜間	101	400	25.3	90	263	34.2	11	137	8.0	3,148	
野球場	昼間	262	903	29.0	9	555	1.6	253	348	72.7	4,547	1面
	夜間	28	397	7.1	17	257	6.6	11	140	7.9	971	
庭球場	昼間	1,920	3,298	58.2	846	2,154	39.3	1,074	1,144	93.9	7,798	3面
	夜間	857	1,314	65.2	593	879	67.5	264	435	60.7	3,301	
弓道場		1,251	1,826	68.5	872	1,248	69.9	379	578	65.6	7,420	6人立
体育館1階		661	1,828	36.2	292	1,248	23.4	369	580	63.6	5,072	畳敷
体育館2階		1,462	1,828	80.0	1,004	1,248	80.4	458	580	79.0	8,494	床

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等のため、全施設を4月27日から5月14日まで、体育館、弓道場を5月15日から5月31日まで施設閉鎖、陸上競技場、野球場、庭球場を5月15日から9月30日まで、体育館、弓道場を6月1日から9月30日まで夜間の利用中止

11 市民球技場管理経費

利用状況

利用回数 6,118回 利用人員 50,265人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
野球場	748	2,428	30.8	128	1,605	8.0	620	823	75.3	12,372	2面
少年野球場	316	1,209	26.1	19	799	2.4	297	410	72.4	5,918	1面
庭球場	4,635	8,375	55.3	2,560	5,579	45.9	2,075	2,796	74.2	23,361	10面
蹴球場	419	1,214	34.5	119	809	14.7	300	405	74.1	8,614	1面

※ 5月15日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能
令和元年10月12日の台風第19号被害により、庭球場は10面のうち5面が使用不能
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖

12 わかぐさ公園野球場管理経費

利用状況

利用回数 626回 利用人員 9,506人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
少年野球場	昼間	483	1,173	41.2	119	770	15.5	364	403	90.3	7,144	1面
	夜間	143	507	28.2	116	340	34.1	27	167	16.2		

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖、5月15日から9月30日まで夜間の利用中止

13 ちがむら球技場管理経費

利用状況

利用回数 463回 利用人員 4,077人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
野球場	昼間	184	832	22.1	19	586	3.2	165	246	67.1	2,744	1面
	夜間	34	295	11.5	18	206	8.7	16	89	18.0		
庭球場	245	1,539	15.9	32	1,155	2.8	213	384	55.5	895	2面	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖、5月15日から9月30日まで夜間の利用中止

14 東原公園球技場管理経費

利用状況

利用回数 1,318回 利用人員 21,128人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
球技場	昼間	757	2,314	32.7	142	1,558	9.1	615	756	81.3	8,641	2面
	夜間	561	927	60.5	443	616	71.9	118	311	37.9		

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖、5月15日から9月30日まで夜間の利用中止

15 友田レクリエーション広場管理経費

利用状況

利用回数 952回 利用人員 5,120人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
ソフトボール場	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1面
庭球場	952	2,673	35.6	203	1,791	11.3	749	1,002	74.8	5,120	3面

※ 5月15日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能
 令和元年10月12日の台風第19号被害により、ソフトボール場が使用不能
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖

16 青梅スタジアム管理経費

利用状況

利用回数 1,386回 利用人員 11,975人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
野球場	423	897	47.2	95	549	17.3	328	348	94.3	7,362	1面
庭球場	963	2,518	38.2	231	1,624	14.2	732	894	81.9	4,613	3面

※ 5月15日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月27日から5月14日まで施設閉鎖

17 東原公園水泳場管理経費

青梅市営水泳場については、平成26年4月から指定管理者制度を導入しており、新たに平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、青梅市スポーツ施設運営パートナーズが運営を行っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は開場を中止した。

(1) 修繕 (単位：千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
東原公園水泳場更衣室床修繕	更衣室床の張替	4,950	オリンピック建設(株)	5.28 ～6.22
東原公園水泳場トイレ洋式化修繕	既存トイレの洋式便器化	3,729	(株)青和施設工業所	1.25 ～3.31

(2) 委託業務 (単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
東原公園水泳場更衣室ロッカー移設等業務委託	交換を伴うロッカーの移設等業務委託	704	西多摩運送(株)青梅営業所	5.27 ～6.22

(歳出 10 教育費)

18 わかぐさ公園こどもプール管理経費

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は開場を中止した。

修繕

(単位：千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
青梅市総合体育館 およびわかぐさ公園 こどもプール管理棟 新型コロナウイルス 感染症対策水栓 自動化修繕	管理棟内の既存 蛇口を非接触 自動水栓へ交換	518	(株)青和施設 工業所	10.26 ～3.30

19 沢井市民センタープール管理経費

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は開場を中止した。

20 運動広場管理経費

運動広場

(1) 地区別設置状況

(単位：か所、㎡)

地区	運動広場数	総面積	地区	運動広場数	総面積
青梅	6	9,461.32	成木	4	8,340.31
長淵	11	25,274.53	東青梅	4	8,321.76
大門	13	41,344.89	新町	2	4,646.57
梅郷	8	10,852.09	河辺	1	1,018.00
沢井	7	19,108.68	今井	6	14,841.28
小曾木	8	18,945.18	合計	70	162,154.61

(2) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
運動広場管理業務委託	施設の管理、清掃、除草等	5,715	地元自治会等	4.1～3.31

(3) 土地借上料等

賃貸借契約件数	賃借料	使用貸借契約件数
38件	42,096千円	14件

21 一般体育施設整備経費

(1) 委託業務

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
青梅スタジアム緑化計画書作成業務委託	テニスコート改修工事に伴う緑化計画書作成業務委託	499	(株)中央技術コンサルタント	12.8 ～3.18
青梅スタジアム地歴調査委託	テニスコート改修工事に伴う地歴調査委託	682	(株)ダイエーコンサルタント東京支社	12.17 ～3.18
旧青梅市釜の淵市民館ほか2件アスベスト含有調査委託	改修工事に伴うアスベスト含有調査	1,376	環境リサーチ(株)	12.23 ～3.30

(2) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

(単位：千円)

名称	予算額	3年度支払額	翌年度繰越額	契約期間
青梅スタジアムテニスコート改修工事	94,464	0	94,464	3.10.1～4.7.29